キーワード索引

あ

ICT …… 32－41
異文化理解…… 29, 48
インクルーシブ教育 …… 60
SDGs …… 30－31, 48
オールイングリッシュ …… 49, 57

か

書くこと …… 6, 20, 25, 47
拡大教科書…… 49, 59
家庭学習…… 27, 33－35, 49
カラーユニバーサルデザイン …… 49, 60
カリキュラム・マネジメント …… 48
環境教育…… 30－31, 46
聞くこと …… 8－9, 19, 22, 42, 47
キャリア教育 …… 30, 46, 48
CAN-DO List …… 11, 47
QRコンテンツ …… 34－35, 40, 49
教師用指導書…… 56－59
協働的な学び…… 32－33
言語材料…… 48, 50－55
語彙指導…… 44, 46, 48
国際理解 …… 29, 46, 48
個別最適な学び…… 32－33, 49
コミュニケーション …… 12－13, 22－25, 46－47

さ

ジェンダー …… 48, 60
自学自習 …… 34－35, 48
思考力・判断力・表現力 ……8－9, 14－21, 42, 46－48
資質・能力 …… 巻頭
指導と評価の一体化 …… 5, 10－11
主体的に学習に取り組む態度 …… 20, 47
小中接続……6－7, 14, 48
人権…… 31, 48, 60
全国学力・学習状況調査 …… 42
即興……12－13, 17, 24, 49

た

他教科との連携 …… 28－30, 48
多様性…… 60
地域 …… 46, 49
知識・技能 …… 17－21, 46
中高連携…… 42－43, 48
デジタル教科書 …… 33, 36－39, 41, 49
統合的な活動…… 21, 47
特別支援…… 33, 36, 49, 60

な

入試対応…… 42

は

働き方改革…… 49
話すこと（発表）…… 13, 20, 47
話すこと（やり取り）…… 12, 17, 24, 47
パフォーマンステスト …… 21, 56－57
1人1台端末 …… 32, 49
評価 ……10－11, 20, 47, 56
福祉…… 31, 48, 60
文法……7, 17, 26, 35, 46－48, 56－57, 59
防災教育…… 30, 48

ま

学びに向かう力・人間性 …… 47
見方・考え方 …… 46
見通し…… 10－11, 16, 46－47
目的・場面・状況 …… 9, 17－25, 42, 46－47

や

UDフォント（ユニバーサルデザインフォント） …… 49, 60
ユニバーサルデザイン …… 31, 49
読むこと …… 18, 23, 42, 47
4技能5領域 …… 14－15, 22－25, 47

Google for Education Partner

当社は，Google Cloud Partner Advantage プログラムにおいて，Google for Education™ の Build パートナーの認定を取得しました。

Google for Education は Google LLC の商標です。

20002840(01)

当社が取り扱う全ての個人情報（デジタル教科書等で取り扱う個人情報）について，社会的使命を十分に認識し，本人の権利の保護，個人情報に関する法規制等を遵守します。

啓林館

啓林館ホームページ
https://www.shinko-keirin.co.jp/

本社	〒543-0052	大阪市天王寺区大道4丁目3番25号	電話 (06) 6779-1531
東京支社	〒113-0023	東京都文京区向丘2丁目3番10号	電話 (03) 3814-2151
北海道支社	〒060-0062	札幌市中央区南二条西9丁目1番2号サンケン札幌ビル1階	電話 (011) 271-2022
東海支社	〒460-0002	名古屋市中区丸の内1丁目15番20号ie丸の内ビルディング1階	電話 (052) 231-0125
広島支社	〒732-0052	広島市東区光町1丁目10番19号日本生命広島光町ビル6階	電話 (082) 261-7246
九州支社	〒810-0022	福岡市中央区薬院1丁目5番6号ハイヒルズビル5階	電話 (092) 725-6677

61啓林館 | 英語 1年061-72／2年061-82／3年061-92
2025(令和7) 年度用中学校教科書　内容解説資料

この資料は，2025年度用中学校教科書の内容解説資料として，
一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則って作成しています。

BLUE SKY

English Course

1・2・3年

2025年度用
中学校外国語科
英語教科書のご案内
内容解説資料A



※QRコードから視聴できる情報は無料ですが，インターネット接続に必要な費用やパケット通信料などは，使用される方のご負担になります。通信環境をご確認の上，ご利用ください。

※QRコードは，株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

教科書のご紹介 Webページ

教科書の特徴を詳しく紹介しています。
また，「観点別特色」「単元一覧表」などをデータでダウンロードいただけます。

https://www.shinko-keirin.co.jp/keirinkan/chu_r7/english/

啓林館

BLUE SKY
無限の可能性が
広がる青空へ

青空が世界中につながっているように，私たちも世界とつながり，世界へと広がっていきたい。
変化・進化にあふれる世界では，コミュニケーションの手段として，
英語の重要性がますます高まっています。
BLUE SKYは，確かな英語力の習得と，未来を切り拓くための資質・能力の育成を目指します。

変わりゆく空の表情を背景に，仲間との関係性の深まりや
自分たちの世界の広がりを魅力的なイラストで表現しました。



1年：出会い

4人の中学生の新たな出会い。いよいよ新しい世界の扉が開きます。どんな楽しいことが待っているのでしょうか。



2年：仲間

Kiriの出身地ニュージーランドへ。4人は仲を深めながら，新しいことに挑戦していきます。



3年：旅立ちに向かって

4人は新しい世界へと羽ばたいていきます。青空はどこまでも広がり，いつでも4人をつないでいます。

BLUE SKYが生まれ変わりました！

● 全面リニューアルされたBLUE SKY

中学校において，新学習指導要領に基づく授業は令和3年度より完全実施されていますが，令和5年度までは，年度や自治体によって学習歴の異なる子どもたちが中学校に入学していました。そのため，令和3年度版BLUE SKYは，新学習指導要領に基づきつつ，新旧指導要領の過渡期にある学びの実態を踏まえて，旧学習指導要領からの継続性も考慮した構成としていました。一方，令和6年度からは，小学校3年次から新指導要領に基づく授業をフルに受けてきた生徒が中学校に入学することとなるため，令和7年度版 BLUE SKY はすべての単元を全面リニューアルし，まったく新しい教科書に生まれ変わりました。

● 思考力・判断力・表現力を育成するBLUE SKY

令和7年度版 BLUE SKY は，「確かな英語力を育成する教科書」「生徒の興味・関心と現代の諸課題に対応する教科書」「指導と評価の一体化を実現する教科書」「ICTを効果的に活用できる教科書」を基本方針として制作いたしました。いずれの単元においても，吟味された「言語材料」「活動」「題材」が盛り込まれており，基礎的な知識・技能の習得に加え，思考力・判断力・表現力の育成と，学びに向かう力・人間性の涵養に貢献いたします。

● BLUE SKY は「ラウンド・システム」にも対応しています

各 Unit は基本的に3つのセクション (Part 1～3, Read/Listen & Think, Think & Speak/Write) で構成されていて，単元の順番に沿った授業計画だけでなく，1学期間あるいは1年間を通して，Round 1，2，3それぞれを集中して扱っていく「3ラウンド・システム」にも対応することができます。BLUE SKYは，多様なシラバス・デザインに対応し，スパイラルな学びを実現する教科書です。

［**Round 1**］各Unitの Part 1 ～ Part 3 → 基礎的な知識・技能を習得します。（インプット及びアウトプット）
［**Round 2**］各Unitの Read & Think / Listen & Think → 思考力・判断力・表現力を育成します。（インプット中心）
［**Round 3**］各Unitの Think & Speak / Think & Write → 思考力・判断力・表現力を育成します。（アウトプット中心）

一人でも多くの中学生の皆さんがこの教科書で学び，まさにBLUE SKY（青空）のように，国や言語・文化の垣根を越えて，世界の人々とのコミュニケーションと相互理解を深めていくことを願っています。

編集委員長
馬場 哲生
東京学芸大学 教授



編集の基本方針

BLUE SKYは，次の４つの方針に基づいて編集をしました。

方針 1

確かな英語力を育成する教科書

４技能５領域の**知識・技能**の習得，**思考力・判断力・表現力**の育成，**主体的に学習に取り組む態度**を養うことを目指しました。コミュニケーションを行う**目的や場面，状況**に応じた言語活動や，具体的な課題を設定した活動を掲載しています。

方針 2

生徒の興味・関心と現代の諸課題に対応する教科書

生徒の**興味・関心**を引きつける内容や，日本や世界で今起こっていることなどを知り，考えることができる出来事を題材として取り扱っています。英語で**もっと学びたい！**という気持ちを醸成し，英語力の向上につながるだけでなく，人間的にも成長させます。

方針 3

指導と評価の一体化を実現する教科書

BLUE SKYでは，単元の始めに**目標**を明示しています。先生にとっては教えやすく**評価**がしやすい，生徒にとっては学習の見通しを立てたり，**学習したことをふり返ったりすることができる**ようにしています。

方針 4

ICTを効果的に活用できる教科書

紙の教科書に加えて，**ICT**を効果的に活用することで，学びにさらなる広がり・深まりを持たせられることを目指しました。**個別最適な学習**も**協働的な学習**もサポートし，確かな学力の育成につながるようにしています。

CONTENTS



編集の基本方針 …… 2

BLUE SKYの４つの特色 …… 4

特色1 **生徒の実態に寄り添った，丁寧な構成の小中接続期** …… 6

特色2 **「聞く」活動をさらに充実させ，「聞く」力を確実に育成** …… 8

特色3 **目標が明示されていて，学習の見通しが立てられる** …… 10

特色4 **即興で話す力を養う** …… 12

BLUE SKYの構成 …… 14

Unit：とびら・Part …… 16

Read & Think / Listen & Think …… 18

Think & Speak / Think & Write …… 20

Project …… 21

Let's シリーズ：Let's Listen・Let's Read …… 22

Let's Talk・Let's Write …… 24

Focus on Form …… 26

付録ページ：英語の学び方・Word Box …… 27

題材紹介 …… 28

ICT特集

教科書×ICTの活用で広がる学び 深まる学び …… 32

QRコンテンツの紹介 …… 34

デジタル教科書の紹介 …… 36

BLUE SKYの気になるアレコレQ&A

中高連携・入試対策 …… 42

語彙の扱い …… 44

配当時数・教科書の扱い …… 45

観点別特色 …… 46

単元一覧表 …… 50

指導書・副教材 …… 56

特別支援・インクルーシブ教育への対応 …… 60



教科書の特色

英語教育を取り巻く環境は，変化し続けています。

例えば，これから中学生になる生徒たちは，
小学校の時に現行の学習指導要領のもと，
４年間英語を学んできています。
先生方もその変化を実感されているのではないでしょうか。

教科書づくりの過程でも，多くの先生方から
生徒の実態に変化を感じているという声や，
見えてきた課題などを伺ってきました。

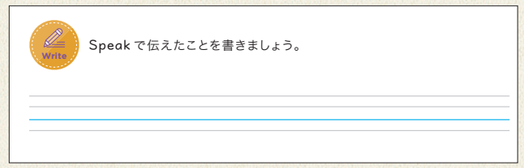
これらのさまざまな課題を解決し，
生徒が確かな英語力やコミュニケーション能力を身に付けるだけでなく，
英語を学ぶことの楽しさや自己効力感をより実感できるように，
BLUE SKYには，さまざまな工夫を盛り込みました。



特色 1　生徒の実態に寄り添った，丁寧な構成の小中接続期

» p. 6

小学校英語で「聞く」「話す」を中心に学んできたことを活かし，中学校での学習にスムーズに接続できるように，活動や言語材料の配列，目標設定などを工夫しています。



1年p. 13

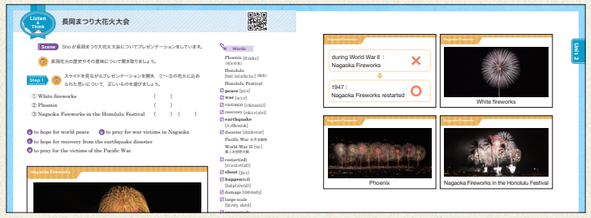


1年p. 8　Let's Start 3

特色 2　「聞く」活動をさらに充実させ，「聞く」力を確実に育成

» p. 8

「読むこと」を指導するように，「聞くこと」についても指導の充実を図りました。「聞くこと」の思考力・判断力・表現力を育成する活動としてListen & ThinkやLet's Listenを設定しています。

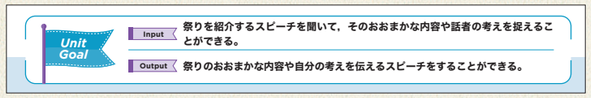


2年pp. 26－27　Listen & Think

特色 3　目標が明示されていて，学習の見通しが立てられる

» p. 10

指導と評価の一体化が図れるように，各単元の目標（InputとOutput）やCAN-DO Listを作成しています。先生も生徒も「何ができるようになるか」のイメージを持って，学習に取り組めます。

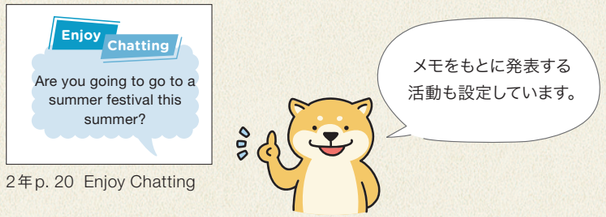


2年p. 19　Unit 2 とびら

特色 4　即興で話す力を養う

» p. 12

設定に苦労するという声も多い，「即興で」話す・伝え合う力を育成するための活動を，各PartのEnjoy Chattingをはじめ，随所に掲載しています。



2年p. 20　Enjoy Chatting

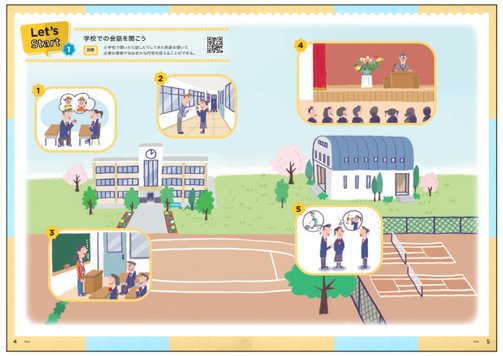
特色 1

生徒の実態に寄り添った，丁寧な構　成の小中接続期

小学校での学びを活かし，
中学校での学習へとスムーズに接続するため，
入学から1年Unit 5までを小中接続期としています。

Point 1 小学校での学びをふり返る小中接続教材

Let's Start 「聞く」「話す」「文字と音」をふり返ります



1年pp. 4－5



1年pp. 8－9

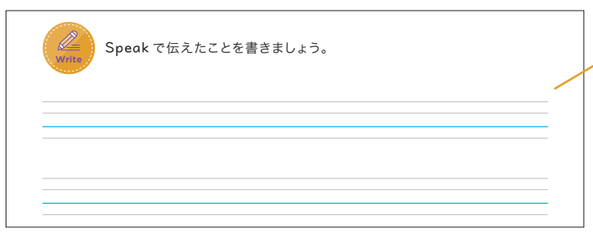
1年巻頭のLet's Startでは，小学校英語での学習事項をふり返り，中学校での学習につなげます。**生徒にとっては，小学校で「聞く」「話す」で慣れ親しんだ語彙や表現について確認することができ，先生にとっては，生徒がどんなことができるようになっているかを確かめる機会**としてご活用していただけます。

各Let's Startの概要とページ数・配当時間		
Let's Start 1	小学校で学んだ語彙・表現で話される会話を**聞き取る**	2ページ
Let's Start 2	小学校で学んだ語彙・表現を使って**やり取りをする**	2ページ
Let's Start 3	**アルファベットの名前と音，発音とつづり**について聞いたり，発音したりする	3ページ

配当時間 各1時間

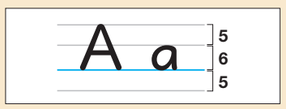
Point 2 「書くこと」のサポート

学習段階に配慮し，1年Unit 1～Unit 3のPartのWriteには4線を掲載しています。**正確に書くこと**をサポートし，徐々に書くことにも慣れていくことができるように工夫しています。



1年p. 13

Blue Sky Elementaryと
同じ5：6：5の4線を使用しています。



Point 3 小学校での既習事項を踏まえた文法配列

小学校で「聞く」「話す」で慣れ親しんだ表現を，1年のUnitを通して文法的に整理します。Unitの各Partで「聞く・読む・話す・書く」活動をすることで，知識・技能を確実に身に付けることができます。例えばUnit 1では，1人称のbe動詞と一般動詞の肯定文・否定文を扱うことで，それぞれの意味と使い方や違いを理解し，より質の高いアウトプットができるように工夫しています。

pp. 50－51 | 単元一覧表（1年）

Unit 1 **Let's Be Friends!**	① I'm .... / I'm not ....　② I like .... / I don't like .... ③ I can .... / I can't ....
Unit 2 **Club Activities**	① Are you ...?　② Do you ...?　③ Can you ...?
Unit 3 **Hello, New Friend.**	① How many ...?　② What sport do you ...?　③ What do you ...?
Unit 4 **My Brother in Canada**	① This is .... / He is .... / He isn't ....　② Is that ...? / Who's ...? ③ What's ...?
Unit 5 **A Fascinating Island in Hawaii**	① Where're you ...? / Where do you ...? ② What time is ...? / What time do you ...?　③ When's ...? / When do you ...?
Unit 8 **Jin in London**	① like ...ing ② want to .... / My dream is to play ....
Unit 9 **Winter Vacation in New York**	① I played .... / I had ....　② Did you ...?　③ She was .... / Was she ...?

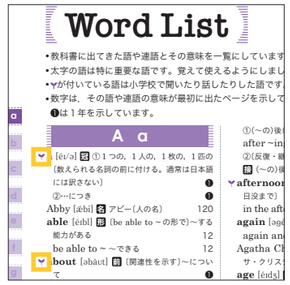
※Unit 8までに本文やスクリプトで使用するが，文法的に整理するのはUnit 8

Point 4 小学校での既習語彙の扱い

小学校で「聞く」「話す」で慣れ親しんだ語彙を小学校既習語彙とし，マークをつけて中学校での新出語句と区別して示しています。



1年p. 12

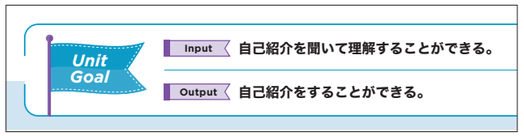


2年p. 146

Point 5 小学校での学びを踏まえた目標設定

小学校で「聞く」「話す」を中心に英語を学んできたことを踏まえて，**1年Unit 1～Unit 5の目標は「聞くこと」「話すこと」を中心に設定**しています。
Unit 6以降から学習段階に配慮して，「読むこと」「書くこと」の目標を設定しています。

pp. 50－51 | 単元一覧表（1年）



1年p. 11 Unit 1とびら

「聞く」活動をさらに充実させ,「聞く」力を確実に育成

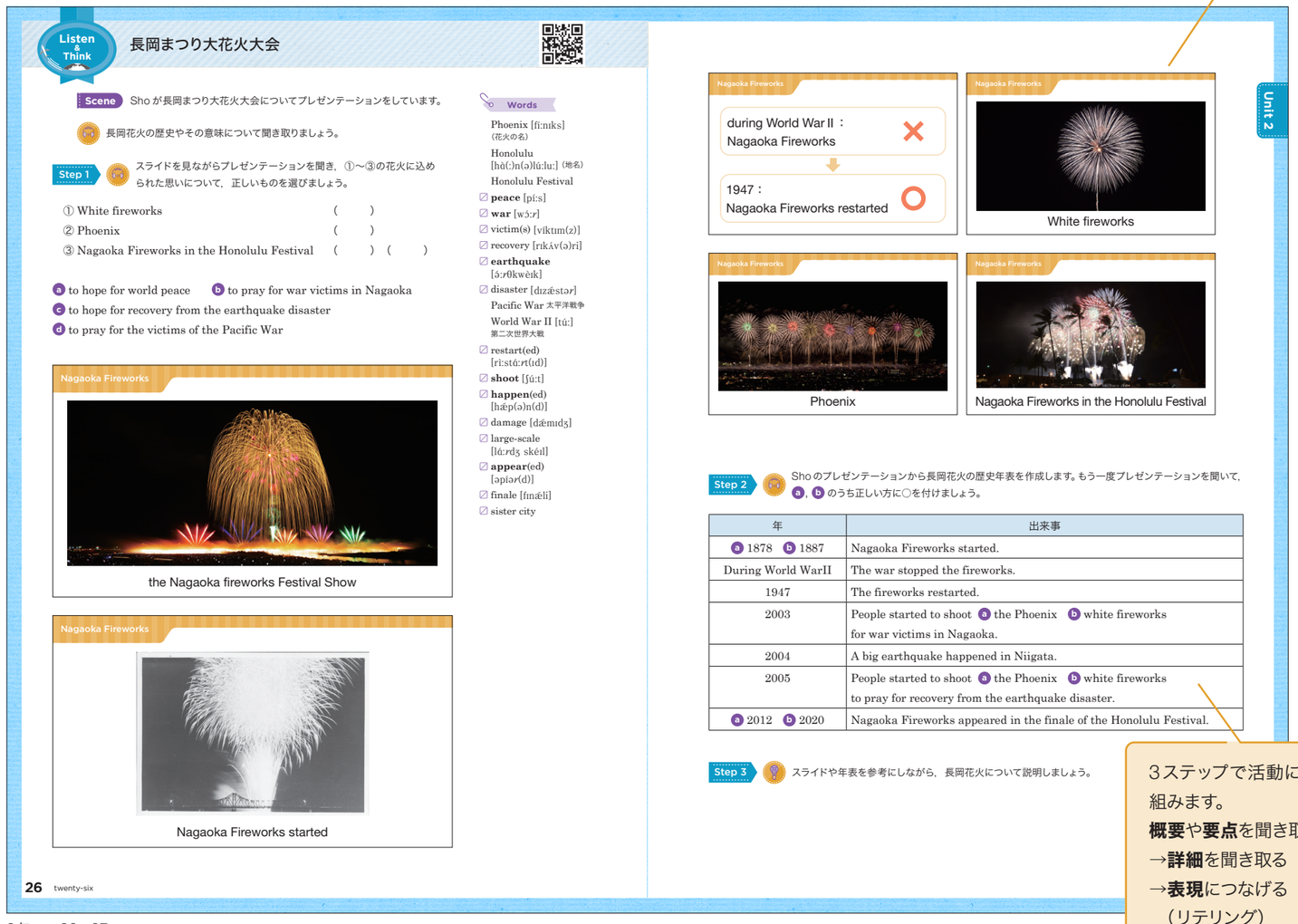
聞く目的に応じて内容を捉える力を育成します。

Point 1 Listen & Think で聞くことの思考力・判断力・表現力を育成

2・3年では，UnitのInputの目標が「聞くこと」についての場合，**Listen & Think**を配置しています※。
学習指導要領の「聞くこと」の目標は，日常的な話題について①**必要な情報**を聞き取る，②**概要**を捉える，そして社会的な話題について③**要点**を捉えることであり，話されることのすべてを聞き取ろうとするのではなく，**聞く目的**に応じて内容を捉えることが求められています。
Listen & Thinkは，聞く目的意識を持たせ，内容を捉える言語活動のコーナーです。Listen & Thinkを通して,**「聞くこと」の思考力・判断力・表現力**を育成します。
※「読むこと」の場合はRead & Thinkを配置。

p. 19

Unitの題材に関連する英文を，紙面に掲載されているスライドなどの情報をもとに聞き取ります。デジタルコンテンツとして，実際のプレゼンテーションを視聴しているような，臨場感あふれる動画を用意しています。



Listen & Think 長岡まつり大花火大会

Scene Shoが長岡まつり大花火大会についてプレゼンテーションをしています。
長岡花火の歴史やその意味について聞き取りましょう。

Step 1 スライドを見ながらプレゼンテーションを聞き，①〜③の花火に込められた思いについて，正しいものを選びましょう。

① White fireworks ( )
② Phoenix ( )
③ Nagaoka Fireworks in the Honolulu Festival ( ) ( )

ⓐ to hope for world peace ⓑ to pray for war victims in Nagaoka
ⓒ to hope for recovery from the earthquake disaster
ⓓ to pray for the victims of the Pacific War

Nagaoka Fireworks
the Nagaoka fireworks Festival Show

Nagaoka Fireworks
Nagaoka Fireworks started

Words
Phoenix [fíːnɪks] (花火の名)
Honolulu [hɑ̀(ː)nə(ɑ)lúːluː] (地名)
Honolulu Festival
☑ **peace** [piːs]
☑ **war** [wɔːr]
☑ victim(s) [víktɪm(z)]
☑ recovery [rɪkʌ́v(ə)ri]
☑ **earthquake** [ɜːrθkwèɪk]
☑ disaster [dɪzǽstər]
Pacific War 太平洋戦争
World War II [túː] 第二次世界大戦
☑ restart(ed) [rìːstɑ́ːrt(ɪd)]
☑ **shoot** [ʃúːt]
☑ **happen**(ed) [hǽp(ə)n(d)]
☑ damage [dǽmɪdʒ]
☑ large-scale [lɑ́ːrdʒ skéɪl]
☑ **appear**(ed) [əpíər(d)]
☑ finale [fɪnǽli]
☑ sister city

Nagaoka Fireworks
during World War II : Nagaoka Fireworks ×
1947 : Nagaoka Fireworks restarted ○

Nagaoka Fireworks
White fireworks

Nagaoka Fireworks
Phoenix

Nagaoka Fireworks
Nagaoka Fireworks in the Honolulu Festival

Step 2 Shoのプレゼンテーションから長岡花火の歴史年表を作成します。もう一度プレゼンテーションを聞いて，ⓐ，ⓑのうち正しい方に○を付けましょう。

年	出来事
ⓐ 1878 ⓑ 1887	Nagaoka Fireworks started.
During World WarII	The war stopped the fireworks.
1947	The fireworks restarted.
2003	People started to shoot ⓐ the Phoenix ⓑ white fireworks for war victims in Nagaoka.
2004	A big earthquake happened in Niigata.
2005	People started to shoot ⓐ the Phoenix ⓑ white fireworks to pray for recovery from the earthquake disaster.
ⓐ 2012 ⓑ 2020	Nagaoka Fireworks appeared in the finale of the Honolulu Festival.

Step 3 スライドや年表を参考にしながら，長岡花火について説明しましょう。

3ステップで活動に取り組みます。
概要や**要点**を聞き取る
→**詳細**を聞き取る
→**表現**につなげる
（リテリング）

2年pp. 26－27

Point 2 Let's Listen で必要な情報や要点を聞き取る力を伸ばす

「聞くこと」に特化した**Let's Listen**を各学年に配置しています。Let's Listenでは，実生活に即した**リアルな場面**での英文を聞き,**必要な情報や要点を聞き取る力**を伸ばします。

p. 22

目的・場面・状況に沿った2つの英文を聞いて，それぞれの**必要な情報**や**要点**を聞き取ります。
3学年を通して，日常的な場面の対話や社会的な話題の聞き取りに取り組みます。

英文を聞く前に，**Before Listening**で語彙・表現を補充したり，スキーマを活性化させたりします。

最後は聞き取った内容を整理して，リテリングします。



Let's Listen 空港のアナウンス

目標：空港や機内のアナウンスから必要な情報を聞き取り，ほかの人に伝えることができる。

Scene あなたはロンドンのヒースロー空港から，いとこと日本に帰るところです。空港に着くと，東京へ向かう搭乗予定機の乗客に向けたアナウンスが聞こえてきました。

Before Listening 搭乗券を見て必要な情報を確認しましょう。

どのゲートから何時に搭乗するのかな。

BS102：搭乗予定の便名 GATE：搭乗口 Boarding Time：搭乗時刻

SKY Airlines
BOARDING PASS ECONOMY CLASS
NAME OF PASSENGER ○○○○ DATE 12 AUG 2025
FLIGHT BS102
FROM LONDON / LHR
TO TOKYO / HND
SEAT 53G
GATE B45 BOARDING TIME 9:40

SKY Airlines
NAME OF PASSENGER ○○○○
FROM LHR
TO HND
FLIGHT BS102
DATE 12 AUG 2025
GATE B45
BOARDING TIME 9:40
SEAT 53G

Step 1 搭乗予定の便の変更を知らせるアナウンスを聞いて，正しいものに☑をしましょう。
・変更後の搭乗口 (gate) □ B45 □ B27 □ B20
・離陸が遅れる理由 □エンジントラブル □悪天候 □搭乗員が不在
・離陸が遅れる時間 □ 27分 □ 30分 □ 60分

Step 2 離陸後の機長のアナウンスを聞いて，下線部に聞き取った情報を書きましょう。
・飛行時間：＿＿時間＿＿分
・東京到着時刻：＿＿時＿＿分
・東京の天気予報：天気＿＿＿＿ 気温＿＿＿＿℃

p.131 Listening Script

予定されている飛行時間や到着時刻，天気予報の内容などを伝えよう。

Step 3 音楽を聞いていてアナウンスを聞き逃したいとこに，聞き取った情報を英語で伝えましょう。

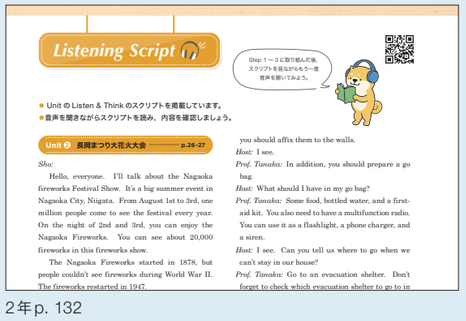
Words ☑ airline(s) [éərlàɪn(z)] ☑ boarding [bɔ́ːrdɪŋ] ☑ boarding pass ☑ economy class [ɪkɑ́nəmi klæs] ☑ **passenger** [pǽsəndʒər] ☑ **date** [deɪt] ☑ **flight** [flaɪt] ☑ **seat** [siːt] ☑ **gate** [geɪt] ☑ boarding time ☑ **attention** [ətén(ʃ)ən] *Attention, please.* ☑ announcement [ənáunsmənt] ☑ departure [dɪpɑ́ːrtʃər] ☑ departure gate ☑ prepared [prɪpéərd] ☑ **bad** [bæd] ☑ delay [dɪléɪ] ☑ inconvenience [ɪnkənvíːnjəns] ☑ captain [kǽptɪn(ə)n] ☑ arrival [əráɪv(ə)l] ☑ forecast [fɔ́ːrkæ̀st] ☑ temperature [témpərtʃər] ☑ cabin [kǽbɪn] ☑ crew [kruː] *come around* ☑ offer [ɔ́ːfər] *sit back* ☑ rest [rést]

Words

forty-three 43

2年p. 43

リスニングスクリプトは巻末付録に掲載しています



Listening Script

Step 1～3に取り組んだ後，スクリプトを見ながらもう一度音声を聞いてみよう。

● Unit の Listen & Think のスクリプトを掲載しています。
● 音声を聞きながらスクリプトを読み，内容を確認しましょう。

Unit 2 長岡まつり大花火大会 p.26-27

Sho: Hello, everyone. I'll talk about the Nagaoka fireworks Festival Show. It's a big summer event in Nagaoka City, Niigata. From August 1st to 3rd, one million people come to see the festival every year. On the night of 2nd and 3rd, you can enjoy the Nagaoka Fireworks. You can see about 20,000 fireworks in this fireworks show.

The Nagaoka Fireworks started in 1878, but people couldn't see fireworks during World War II. The fireworks restarted in 1947.

you should affix them to the walls.
Host: I see.
Prof. Tanaka: In addition, you should prepare a go bag.
Host: What should I have in my go bag?
Prof. Tanaka: Some food, bottled water, and a first-aid kit. You also need to have a multifunction radio. You can use it as a flashlight, a phone charger, and a siren.
Host: I see. Can you tell us where to go when we can't stay in our house?
Prof. Tanaka: Go to an evacuation shelter. Don't forget to check which evacuation shelter to go to in

2年p. 132

「読むこと」については p. 18 Read & Think, p. 23 Let's Read などをご覧ください！



特色 3

目標が明示されていて，学習の見通しが立てられる

BLUE SKYでは，
「**この学習に取り組むことで何ができるようになるか**」を
具体的に設定し，先生も生徒もイメージが持ちやすいようにしています。

Point 1 学習の冒頭で目標を確認できる

どのコーナーでも，紙面上部に**目標**を掲載しています。
学習にあたって，まずは目標を確認し，これからの**学習の見通しが立てられる**ようにしています。

● Unit



2年p. 19

Unitの目標を，Unit内最初のコーナーの「とびら」の上部に掲載しています。
どの技能の力を伸ばすか，どんなことができるようになるかを確認します。

Unitの目標は，InputとOutputの２本柱で設定しています。

- **Input**「**聞くこと**」もしくは「**読むこと**」についての目標
- **Output**「**話すこと**」もしくは「**書くこと**」についての目標

● Project・Let's シリーズ



2年p. 44



2年p. 73

Projectや Let's シリーズでも，紙面上部に目標を掲載し，この学習の最後にはどんなことができるようになっているかを確認します。

Point 2 目標と評価の一致

本課のUnitでは，とびらで掲載した目標を，単元末の活動のページにも掲載しています。
単元の学習の最後には，目標に基づいて**自己評価**を行い，学習をふり返ります。

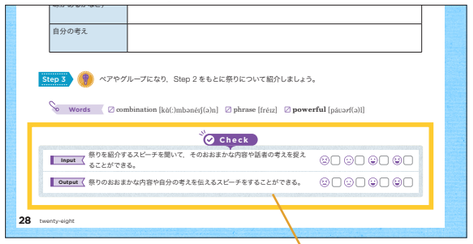
● Unitとびら



2年p. 19

単元の学習の最初に目標を確認！

● Think & Speak / Write

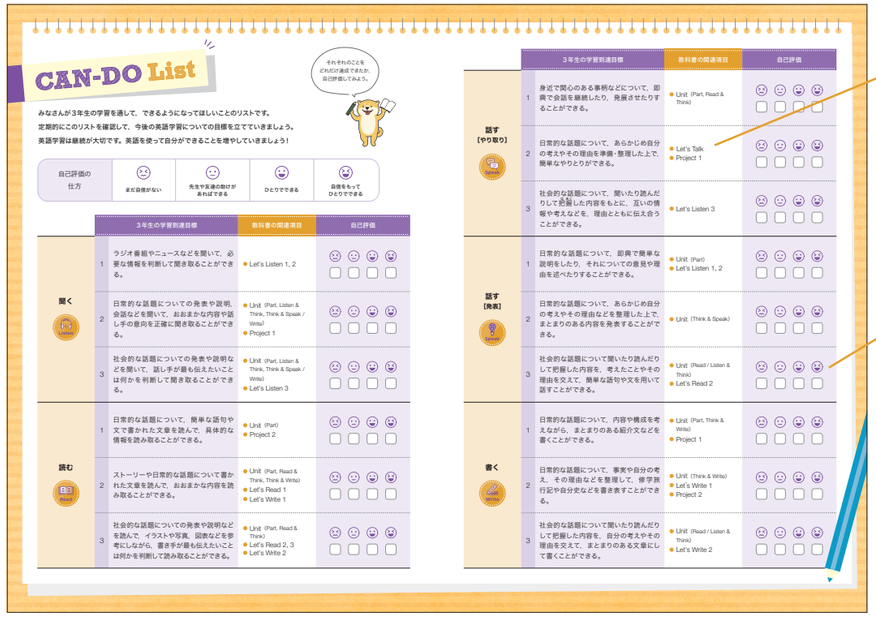


2年p. 28

単元末の活動後に，目標に基づいて自己評価

Point 3 CAN-DO List

CAN-DO Listは学年ごとに作成し，教科書の後見返しに掲載して，いつでも参照しやすいようにしています。
領域別に学習到達目標を設定しています。UnitやProject，Let's シリーズでの学習を通して，学年の終わりにはどんなことができるようになっているかを確認します。



3年後見返し

学習到達目標とともに，**教科書の関連項目**を掲載しています。

自己評価は**４段階**で行います。

Project p. 21

複数のUnitで身に付けた知識・技能や思考力・判断力・表現力を活用して取り組む，技能統合型の言語活動です。思考力・判断力・表現力をさらに伸ばします。



Unit pp. 16－20

会話文や発表文，説明文を聞いたり読んだり，新出文法を場面や状況に応じて使う練習をしたりして，５領域の力を伸ばします。



Let's シリーズ pp. 22－25

各技能領域に特化したコーナーです。目的・場面・状況に応じて活動を行い，各技能領域の力・実生活に即したコミュニケーション能力を育成します。

Listen / Read / Speak / Write

pp. 14－15 | BLUE SKYの構成

即興で話す力を養う

「即興で」話す・伝え合う力を育成できる活動を，随所に設定しています。

Point 1 Enjoy Chattingで即興的にやり取りする力を育成

「話すこと（やり取り）」の目標の1つに，「関心のある事柄について，簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする」ことが掲げられています。
即興的にやり取りする力を育成するための活動として，Unitの各Partに**Enjoy Chatting**を設定しています。Enjoy Chattingでは，Partの本文内容に関連する問いを1問提示しています。その問いに基づいてペアやグループでやり取りをしたり，先生のSmall Talkに活用したり，帯活動としても取り組んだりすることができます。


祭

祭りについて調べて発表することに
na がスピーチをします。

ri Nebuta Festival?

Nebuta Festival is a famous summer
with a long history. A nebuta is a
nd human-shaped float. About 20
ers and musicians parade down the

about 2.8 million people join this

Enjoy Chatting
Are you going to go to a summer festival this summer?

Words
- lighted [láitɪd]
- **human** [hjúːmən]
- -shaped [ʃèɪpt]
- human-shaped
- float [flóʊt]
- **parade** [pəréɪd]
- . ← **point** [pɔ́ɪnt]
- **million** [míljən]

2年p. 20 Unit 2 Part 1

ここでは，Part本文で日本の代表的な夏の祭りである「青森ねぶた祭」を取り上げているので，Enjoy Chattingの問いは夏祭りに関する内容にしています。



［編集委員］
瀧沢 広人　岐阜大学 准教授

Chatとは，気軽なおしゃべりです。Enjoy Chattingは，その気軽なおしゃべりを生徒同士で楽しみ，例えば中1で1分，中2で2分，中3で3分以上の会話が続く即興的なやり取りをねらいとします。本文の内容に準拠していますので，そのまま本文に入ることもできますし，会話の仕方やコミュニケーションスキルを教える機会にもなります。ぜひ！Enjoy Chattingを活用し，英語の話せる生徒を育てましょう！

Enjoy Chattingの会話例は，
指導書の指導編
（各Partの指導案）に
掲載予定です。
指導の参考としてご覧ください。

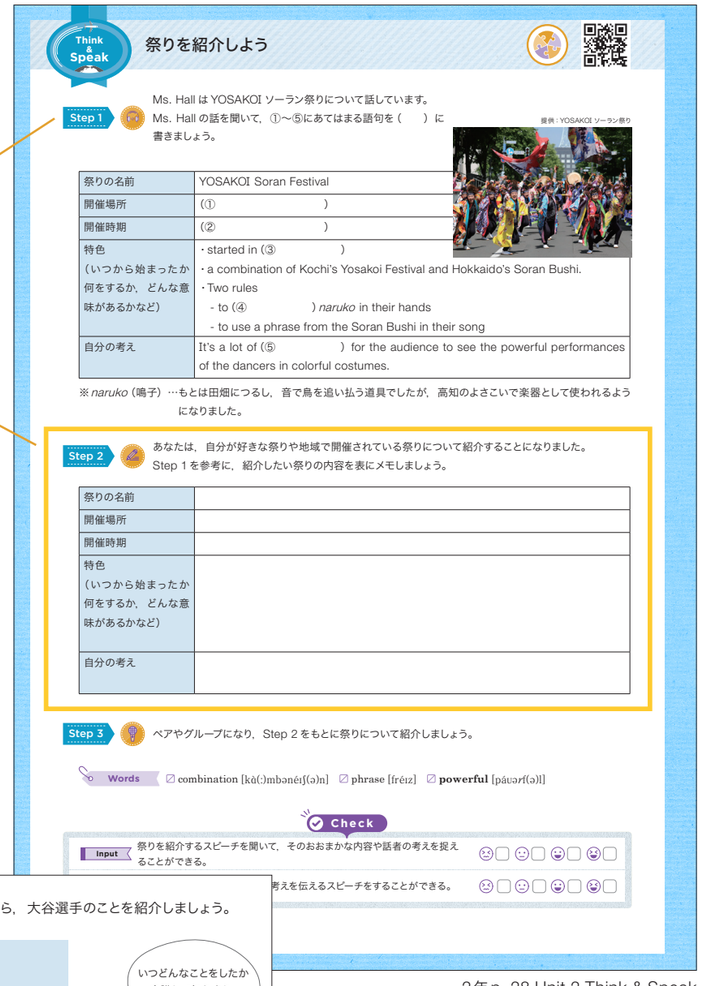


Point 2 メモをもとに発表する活動に取り組む

「話すこと（発表）」の目標の1つに，「関心のある事柄について，簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようにする」ことが掲げられています。
単元末の活動のThink & Speakなどでは，発表したい内容を考える際，表に**メモをする活動**に取り組みます。そのメモをもとに発表する活動に取り組むことで，**即興で話す力**を育成し，主体的に英語でコミュニケーションを図ろうとする態度を養います。

最初に，発表のモデルとなる英文を聞き取ります。ここで示されている表が，このあと自分が作成するメモのモデルにもなります。

表の項目に基づいて考えることで，メモを作成します。発表の際はここで作成したメモを見ながら行うことができます。


Think & Speak　祭りを紹介しよう

Step 1　Ms. Hallは YOSAKOI ソーラン祭りについて話しています。
Ms. Hallの話を聞いて，①〜⑤にあてはまる語句を（　）に書きましょう。

提供：YOSAKOI ソーラン祭り

祭りの名前	YOSAKOI Soran Festival
開催場所	(①　　)
開催時期	(②　　)
特色（いつから始まったか何をするか，どんな意味があるかなど）	・started in (③　　) ・a combination of Kochi's Yosakoi Festival and Hokkaido's Soran Bushi. ・Two rules - to (④　　) *naruko* in their hands - to use a phrase from the Soran Bushi in their song
自分の考え	It's a lot of (⑤　　) for the audience to see the powerful performances of the dancers in colorful costumes.

※*naruko*（鳴子）…もとは田畑につるし，音で鳥を追い払う道具でしたが，高知のよさこいで楽器として使われるようになりました。

Step 2　あなたは，自分が好きな祭りや地域で開催されている祭りについて紹介することになりました。Step 1を参考に，紹介したい祭りの内容を表にメモしましょう。

祭りの名前	
開催場所	
開催時期	
特色（いつから始まったか何をするか，どんな意味があるかなど）	
自分の考え	

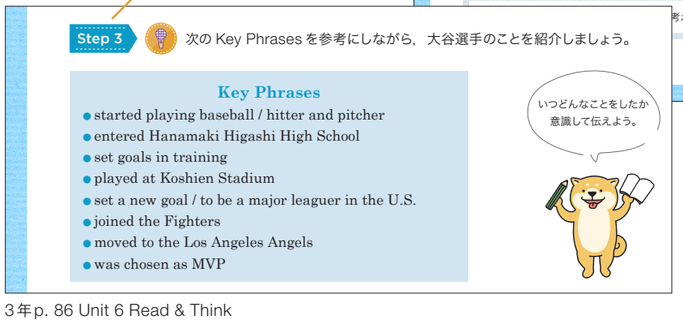
Step 3　ペアやグループになり，Step 2をもとに祭りについて紹介しましょう。

Words　combination [kɑ̀(ː)mbənéɪʃ(ə)n]　phrase [fréɪz]　**powerful** [páʊərf(ə)l]

Check
Input　祭りを紹介するスピーチを聞いて，そのおおまかな内容や話者の考えを捉えることができる。
考えを伝えるスピーチをすることができる。

2年p. 28 Unit 2 Think & Speak

2・3年のRead / Listen & Thinkでは，理解した内容について，**キーワードなどを参考にしながら話す活動**を設定しています。

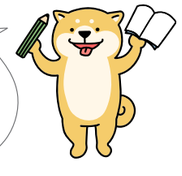

Step 3　次のKey Phrasesを参考にしながら，大谷選手のことを紹介しましょう。

Key Phrases
- started playing baseball / hitter and pitcher
- entered Hanamaki Higashi High School
- set goals in training
- played at Koshien Stadium
- set a new goal / to be a major leaguer in the U.S.
- joined the Fighters
- moved to the Los Angeles Angels
- was chosen as MVP

いつどんなことをしたか意識して伝えよう。

3年p. 86 Unit 6 Read & Think

「書くこと」については
p. 20 Think & Write,
p. 25 Let's Write などを
ご覧ください！

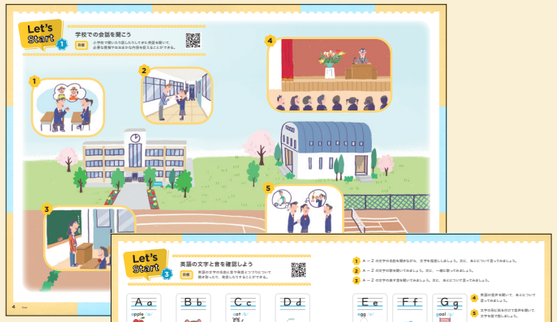


BLUE SKYの構成

教科書での学習を通して，５領域の「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力」，
そして「主体的に学習に取り組む態度」を育成できるように構成しています。

Let's Start（1年のみ）

小学校で学習した「聞くこと」「話すこと（やり取り）」「アルファベットの音とつづり」についてふり返ります。小学校での学習事項を復習し，中学校での学習につなげます。



1年pp. 4－5



1年pp. 8－9

Unit

pp. 16－20

とびら

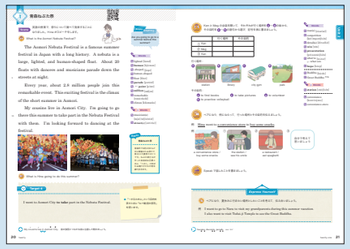
Unitの目標を確認し，イラストや写真を見ながら音声を聞いて題材に関するスキーマを活性化させます。



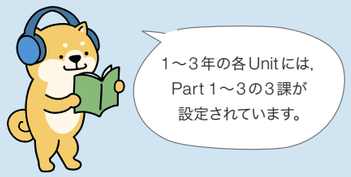
2年p. 19

Part

本文を通して新出文法が使われている場面を確認したり，新出文法を場面や状況に応じて使う練習をしたりします。



2年pp. 20－21

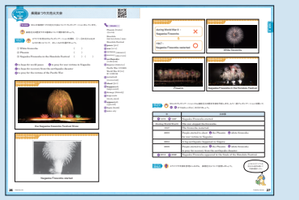


Read/Listen & Think（2・3年のみ）

Unitのテーマに沿った，まとまった分量のある英文を聞いたり読んだりします。



2年pp. 40－41



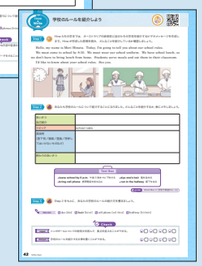
2年pp. 26－27

Think & Speak/Write

単元末の活動として，学んだ表現を使いながら言語活動に取り組みます。



2年p. 28



2年p. 42

Let'sシリーズ

pp. 22－25

各技能領域に特化したコーナーです。各技能領域の力・実生活に即したコミュニケーション能力を育成します。

Let's Talk



2年p. 73

Let's Listen



2年p. 43

Let's Write



1年p. 85

Let's Read



2年pp. 124－125

Focus on Form

p. 26

文法・文構造を系統的に，詳細な解説を加えて整理します。



2年p. 17

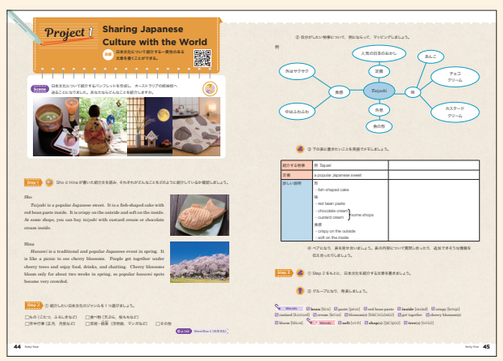


学期末の統合的な活動

Project

p. 21

各学期末に取り組む，技能統合型の言語活動です。
パフォーマンステストとしても活用できます。



2年pp. 44－45

Unit（とびら・Part）

1年の各Unitは「とびら」「Part」「Think & Speak/Write」，2・3年の各Unitは「とびら」「Part」「Read/Listen & Think」「Think & Speak/Write」が基本構成です。Unitの目標（Unit Goal）に基づき，「Read/Listen & Think」と「Think & Speak/Write」は，いずれかが入っています。

配当時間について

●1年

1 2	とびら・Part 1
3 4	Part 2
5 6	Part 3
7	Think & Speak もしくは Think & Write

●2・3年

1 2	とびら・Part 1
3 4	Part 2
5 6	Part 3
7 8	Read & Think もしくは Listen & Think
9	Think & Speak もしくは Think & Write

※3年では，Read & Thinkは3時間配当となります。

とびら
学習の見通しを立てる，題材に関する**スキーマ活性化**

Unit Goal
Unitの目標。InputとOutputの2本柱で設定しています。
- **Input**…「聞くこと」もしくは「読むこと」についての目標
- **Output**…「話すこと」もしくは「書くこと」についての目標



2年p. 19

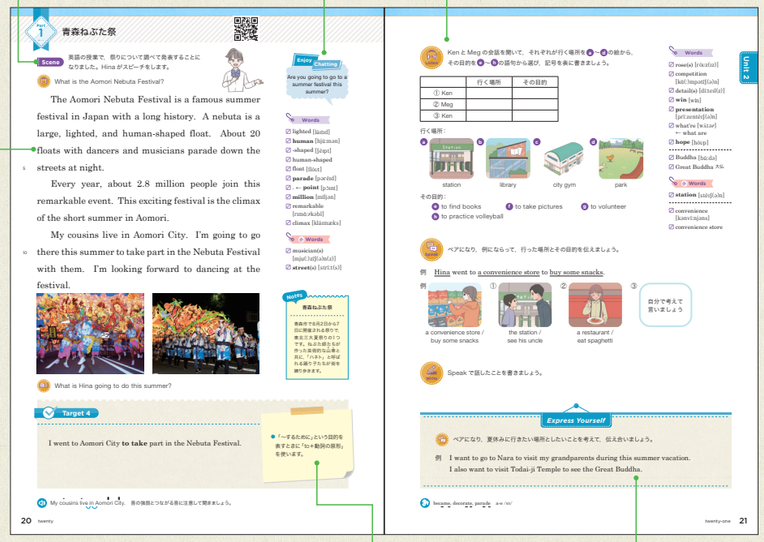
Listen
写真やイラストを見ながらUnitの題材に関する英文を聞いて，問いに対して考えます。題材への**興味・関心**を持たせ，このあとに続くPart本文などの理解の助けとなるようにしています。

Part
知識・技能の習得

Scene
本文の**目的・場面・状況**を確認します。

Enjoy Chatting
本文の内容に関連した問いです。ペアワークやSmall Talkに活用して，**即興的にやり取りをする力**を養います。

Listen / Speak / Write
Target（新出文構造・文法）を含む英文を**聞き取る**，Targetを使って**話す**知識・技能を養います。また，Writeでは話したことを**正確に書く**技能を養います。



2年pp. 20–21

本文
Target（新出文構造・文法）を含む会話文や発表文です。どんな場面や状況で使われているかを確認できます。まず**「聞く」**ことから入り，生徒の**気付きを促し**ます。本文の上にはListenの問いを設定しています。本文の下には，Readの問いを設定して，**概要・要点を捉える**活動をします。

Target
Partで学習する**新出文構造・文法**の例文と解説を示しています。

Express Yourself　1年 Unit 5 ～
目的・場面・状況に応じて，新出文構造・文法を使って**自己表現**（話す（発表），話す（やり取り），書くのいずれか）をします。Partでも**思考力・判断力・表現力**を養います。

QRコードについて
各紙面には，QRコードを掲載しています。QRコードを読み取ることで，本文や新出語句，リスニング問題の音声を聞いたり，アニメーション・スライドショー映像やTargetの解説動画を視聴したりすることができます。1人1台端末を有効に活用し，個別最適な学びを実現します。

pp. 34–35

学習の流れ

学習の見通しを立てる

1 単元目標の確認
これから学習するUnitでは，どんなことができるようになるのか確認し，学習の見通しを立てます。

2 題材に関するスキーマの活性化
Unitの題材に関する英文を聞きます。英文の最後には，生徒自身のことについて問いかける質問を入れているので，生徒の既知情報や経験等を想起させます。

知識・技能

1 本文の概要・要点理解
まずは本文を聞いて生徒の気付きを促します。次にTarget（新出文構造・文法）や語彙を確認します。その後，読むことを通して概要・要点を捉えます。

2 Targetの確認
Target例文・解説から，どんなことを伝えたいときに，Partの新出文構造・文法を使うかを理解します。

思考力・判断力・表現力

3 目的・場面・状況に応じて使う練習
Listen→Speak→Writeの順で，Partの Targetを使う練習をします。

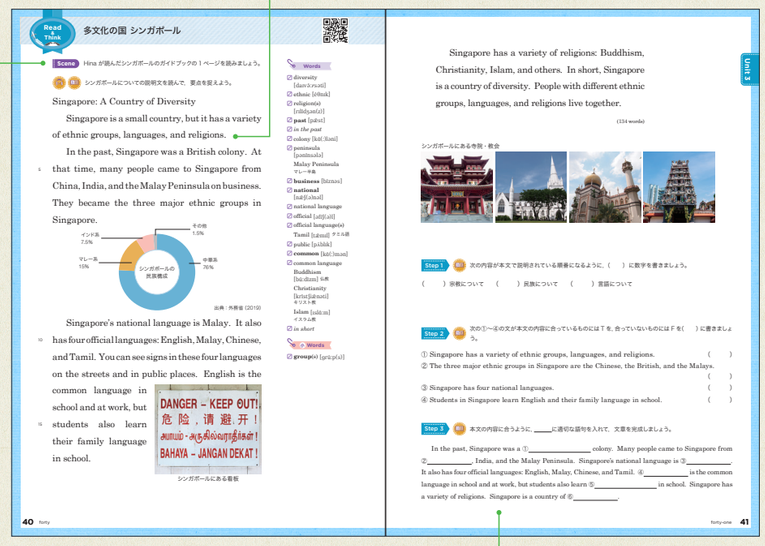
4 新出文法を用いて自己表現
Express Yourselfでは，目的・場面・状況に応じて，自己表現をします。Partで学んだことを活用して，活動に取り組みます。

Unit（Read & Think / Listen & Think）

Read & Think（2・3年）
読むことの**思考力・判断力・表現力**の育成

Unitの**Input**の目標が**「読むこと」**についての場合，**Read & Think**を配置しています。

Unitの題材に関する英文を読みます。本文には，Partで学んだTargetが含まれています。2年・3年を通して，さまざまなテキストタイプの英文を読みます。（例：新聞記事，グラフ入りの説明文，SNSでのメッセージのやり取り）



2年pp. 40－41

Scene
本文の**目的・場面・状況**を確認します。

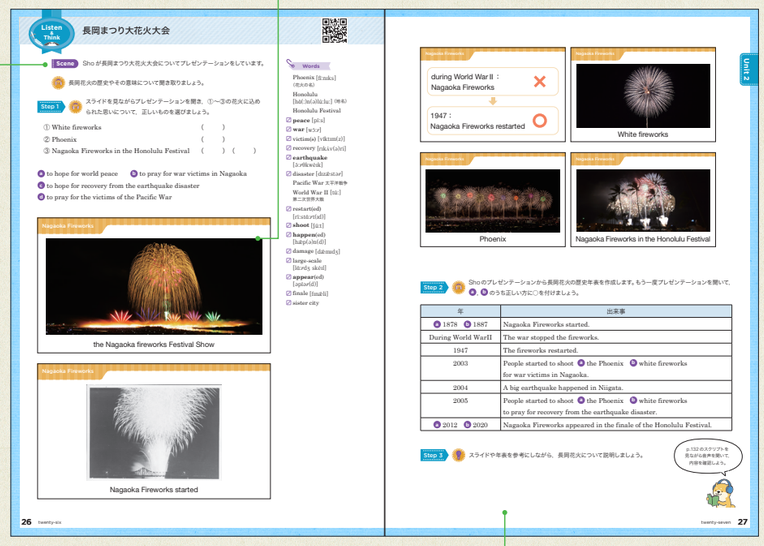
Step 1~3
本文の内容理解活動です。何を読み取るのか，目的意識を持ちながら読むことにつなげます。
Step 1：概要や**要点**を読み取る（例：時系列の整理，見出しづけ）
Step 2：詳細を読み取る　（例：英問英答，TF問題）
Step 3：表現につなげる　（例：要約，内容に対して意見を言う）

Listen & Think（2・3年）
聞くことの**思考力・判断力・表現力**の育成

Unitの**Input**の目標が**「聞くこと」**についての場合，**Listen & Think**を配置しています。

Unitの題材に関する英文を聞きます。スクリプトには，Partで学んだTargetが含まれています。紙面に掲載されているスライドなどの情報をもとに，プレゼンテーションやラジオ放送を聞きます。

スクリプトは巻末付録に掲載しています。



2年pp. 26－27

Scene
本文の**目的・場面・状況**を確認します。

Step 1~3
本文の内容理解活動です。何を聞き取るのか，目的意識を持ちながら聞くことにつなげます。
Step 1：概要や**要点**を聞き取る（例：話されている内容の順番を整理）
Step 2：詳細を聞き取る　（例：英問英答，年表完成）
Step 3：表現につなげる　（例：リテリング）

知識・技能　思考力・判断力・表現力

学習の流れ

❶ 本文の概要・要点理解
まずは本文を聞いたり読んだりして，概要や要点を捉えます。Step 1の活動に取り組み，概要や要点を捉えているか確認します。

❷ 本文の詳細理解
次に，もう1度本文を読んで詳細まで理解します。Step 2の活動に取り組み，詳細をおさえられているか確認します。

❸ 読み取った内容を整理／自己表現する
最後にStep 3の活動に取り組みます。内容を要約したり，内容に対して自分の意見や考えを発表したり書いたりして発信する活動などに取り組みます。

知識・技能　思考力・判断力・表現力

学習の流れ

❶ 本文の概要・要点理解
まずは英文を聞いて，概要や要点を捉えます。Step 1の活動に取り組み，概要や要点を捉えているか確認します。

❷ 本文の詳細理解
次に，もう1度英文を聞いて詳細を聞き取ります。Step 2の活動に取り組み，詳細をおさえられているか確認します。

❸ 聞き取った内容を整理して伝える
最後にStep 3の活動に取り組みます。聞き取った内容を整理して，紙面に掲載されているスライドやキーワードを参考にしながら，リテリングします。

Unit（Think & Speak / Think & Write）

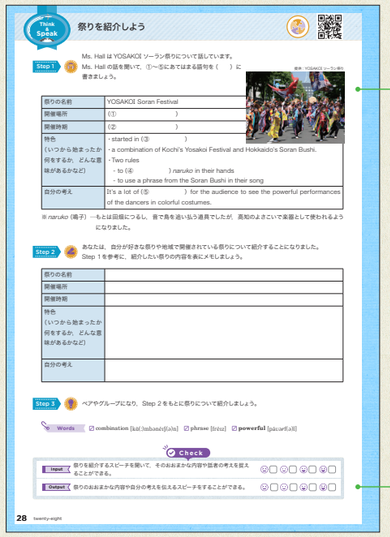
Think & Speak / Think & Write
話すこと／書くことの**思考力・判断力・表現力**の育成

Unitの**Output**の目標が**「話すこと（発表・やり取り）」**についての場合，**Think & Speak**を，**「書くこと」**についての場合，**Think & Write**を配置しています。

Step 1~3

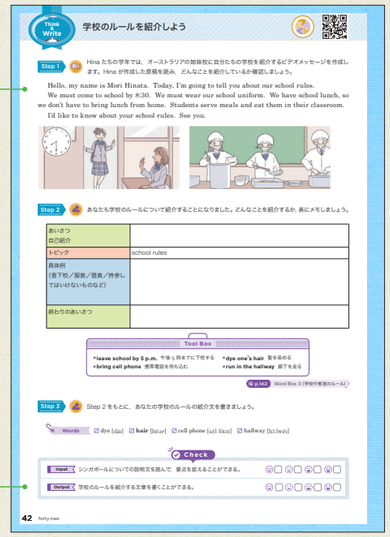
Unit Goalの**Output**の目標を達成するための言語活動です。
Step 1：発信のモデルとなる英文を聞く，もしくは読む
Step 2：Step 1を参考にしながら，自分が伝えたい内容を整理する
Step 3：「話す」もしくは「書く」発信活動を行う

●Think & Speak



2年p. 28

●Think & Write



2年p. 42

Check　Unitでの学習をUnit Goalに基づいて，**自己評価**をします（4段階）。

知識・技能　**思考力・判断力・表現力**　**主体的に学習に取り組む態度**

学習の流れ

① モデル文の内容理解
Step 1の活動に取り組みます。モデル文を聞いたり読んだりして，内容を理解します。それとともに，最後のStep 3で行う発信活動のモデル構成も学びます。

② 発信内容の整理
次に，Step 2の活動に取り組み，自分が伝えたいことを整理します。表の項目に基づいてメモをして，Step 3での発信活動につなげます。

③ 発信活動を行う
Step 3の活動に取り組みます。Step 2で作成したメモを参考にしながら，発表したり，文章を書いたりします。

④ Unitの学習をふり返る
最後に，Unitでの学習をふり返ります。冒頭のとびらでも提示したUnit GoalのInput，Outputそれぞれに基づいて，4段階で自己評価をします。

Project

各学年3か所（**各学期末**の想定）にProjectを配置しています（3年のみ2か所）。
それまでに身に付けた知識・技能や思考力・判断力・表現力を活用して取り組む，
技能統合型の言語活動です。Projectを通して，**思考力・判断力・表現力**をさらに育成します。

Scene　活動の**目的・場面・状況**を確認し，自分が表現したいことを考えます。



2年pp. 44－45

Step 1~3

主な流れ
Step 1：発信のモデルとなる英文を聞く，もしくは読む
Step 2：Step 1のモデル文を参考にしたり，シンキングツール（例：マッピング，Yチャート）を使ったりして，自分が伝えたい内容を整理する
Step 3：「話す」・「書く」発信活動を行う

●Project 内容一覧

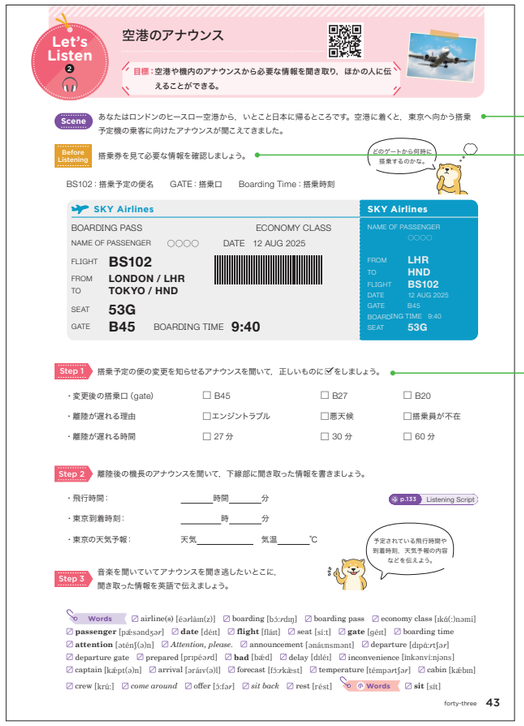
学年	Project	タイトル	活動形態	配当時間
1年	1	自己紹介をしよう	スピーチ	2
	2	好きな人や尊敬する人を紹介しよう	スピーチ	3
	3	先生に感謝の手紙を書こう	手紙を書く	3
2年	1	Sharing Japanese Culture with the World	紹介文を書く	3
	2	Our Dreams for the Future	プレゼンテーション	3
	3	Discussion	ディスカッション	3
3年	1	Interview with Our ALT	インタビュー	3
	2	This Is All About Me -Autobiography-	自伝を書く	3

Let's シリーズ（Let's Listen・Let's Read）

各技能領域に特化した活動のLet's シリーズを各学年に配置しています。
目的・場面・状況に応じて活動を行い，各技能領域の力・実生活に即したコミュニケーション能力を育成します。

Let's Listen

実生活に即した**リアルな場面**の英文を聞き取る活動です。主に日常的な場面の対話を聞き取り，３年の最後では社会的な話題の聞き取りにも取り組みます。



2年p. 43

Scene Step 1以降で聞き取る英文の**目的・場面・状況**を確認します。

Before Listening

Step 1以降で英文を聞き取る際に参考になるような**語彙・表現**を補充したり，題材についての**スキーマを活性化**（生徒の既知情報や経験等を想起）させたりします。

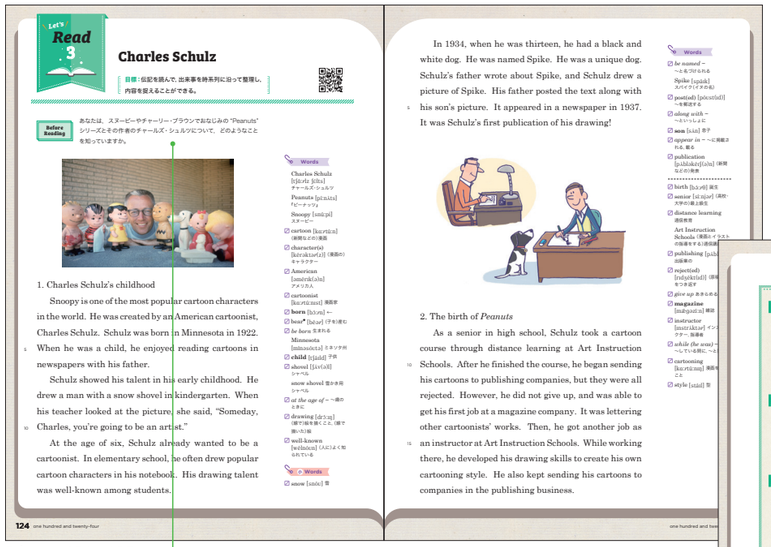
Step 1~3

Step 1：英文を聞いて，必要な情報，概要，要点を聞き取る
Step 2：Step 1の英文の続きや，Step 1とは異なる場面や状況の英文を聞いて，必要な情報，概要，要点を聞き取る
Step 3：聞き取った内容を整理してリテリングする



Let's Read

さまざまなジャンルの英文を読む活動です。話の**概要や要点を読み取る力**を伸ばします。



2年pp. 124－125

Before Reading

本文を読む前に，必要な予備知識（例：本文前までのあらすじ，キャラクター紹介）を示したり，**スキーマを活性化**させたりします。

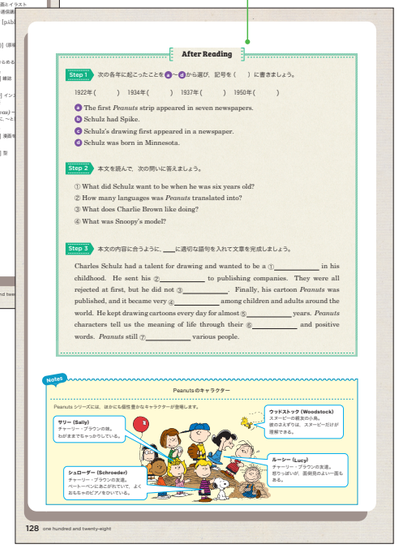
Tips for Reading

まとまった分量のある英文を読む際のポイントを示しています。

Tips for Reading
時系列に整理する
時を表す表現に注目しながら読み，いつどんなことが起こったかを整理することで，内容を理解する助けになります。

After Reading

本文を読んだ後に取り組む活動。話の概要や要点を整理して，読んだ内容について意見や感想を伝え合ったり，要約をしたりします。



2年p. 128

●Let's Listen 内容一覧

学年	Listen	タイトル（スクリプトのタイプ）
1年	1	ビデオメッセージ（自己紹介）
	2	買い物（店員とのやり取り）
	3	今日のニュース（出来事・やり取り）
2年	1	週末の天気予報（やり取り）
	2	空港のアナウンス（アナウンス）
	3	留守番電話（メッセージ）
	4	ラジオ番組（出来事・やり取り）
3年	1	Rank Items in Order of Importance（やり取り）
	2	Pay It Forward（出来事）
	3	Fighting Global Warming（スピーチ）



●Let's Read 内容一覧

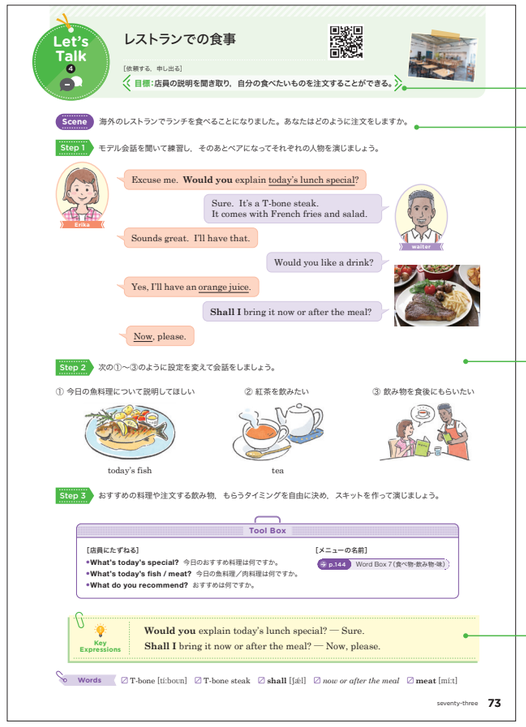
学年	Read	タイトル	ジャンル	配当時間
1年	1	The Frogs and the Well	物語（コマ割り漫画）	1
	2	Eeyore Has a Birthday and Gets Two Presents	物語	3
2年	1	The Restaurant of Many Orders	物語（日本原作）	2
	2	The Snowman	物語	3
	3	Charles Schulz	伝記	4
3年	1	The Wizard of Oz	物語	4
	2	English Is a Tool for International Communication	説明文	4
	3	Rocket Boys	ノンフィクション	6

※3年 Let's Read 3 は発展的な表現（＝高校で学習する表現）を含む読みものです。

Let's シリーズ（Let's Talk・Let's Write）

Let's Talk

実生活に即した**リアルな場面や状況**に応じて，**即興的なやり取り**を行います。やり取りを通して，場面特有の表現なども身に付けます。



2年 p. 73

「場面」，「言語の働き」，「目標」を最初に提示しています。

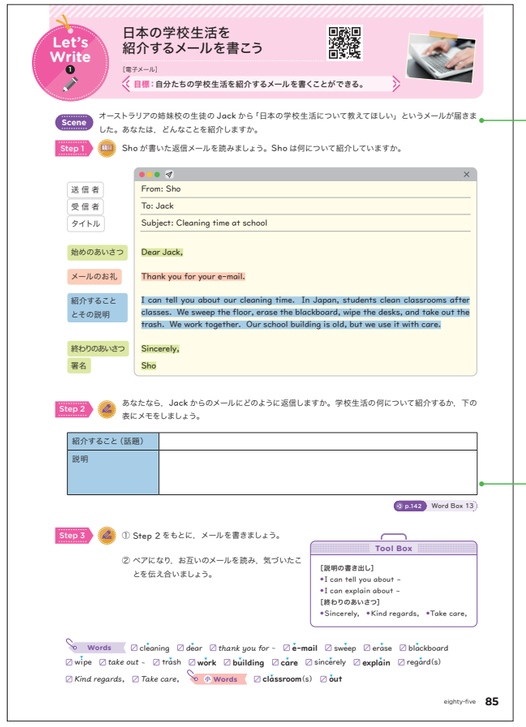
Scene このLet's Talkのコミュニケーションの**目的・場面・状況**を確認します。

Step 1~3
Step 1：モデル会話を聞いたり読んだりしたあと，ペアで練習する
Step 2：一部設定を変えて，モデル会話を参考にしながらやり取りをする
Step 3：目的や場面，状況を自分たちで設定して，スキットを作って演じる

Key Expressions
モデル会話でも登場した，**場面特有の表現**もしくは，**各言語の働きの表現**をピックアップして示しています。

Let's Write

目的・場面・状況に応じて，**まとまりのある文章を書く**活動を行います。日常的な話題についての短めの英文から，社会的な話題についての意見文まで，学習段階に応じて扱います。



1年 p. 85

Scene このLet's Writeのコミュニケーションの**目的・場面・状況**を確認します。

Step 1~3
Step 1：モデル文を読んで，概要などを理解するとともに，**文章構成**も理解する。
→ 文章構成が分かりやすいように，色分けをしています。
Step 2：自分が書きたい内容を整理する
Step 3：Step 2のメモをもとに文章を書く。そのあと，ペアやグループになり，書いた文章を読み合い，アドバイスを伝え合う（**ピア・ラーニング**）。そのアドバイスを受けて文章を加筆・修正する。

●Let's Talk 内容一覧

学年	Talk	タイトル	言語の働き
1年	1	ショッピングモールで	質問する
	2	校舎の案内	質問する，説明する
	3	だれのもの？	質問する
	4	ファストフード店で	依頼する
	5	お願い	依頼する
2年	1	親しい人への依頼	依頼する
	2	気持ちを伝える	気持ちを伝える
	3	道案内	依頼する，説明する
	4	レストランでの食事	依頼する，申し出る
	5	体調は？	話し掛ける，助言する
	6	許可を求める	許可を求める
3年	1	買い物のトラブル	苦情を伝える，謝る
	2	乗り物を使った道案内	依頼する，説明する
	3	誘いを断る	断る



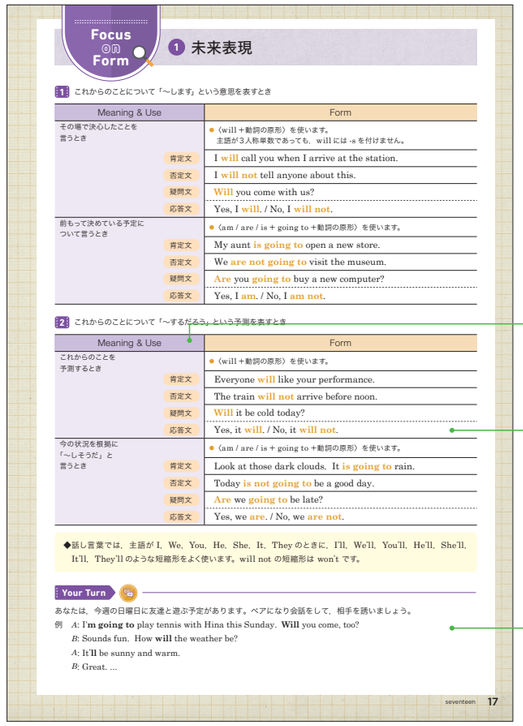
●Let's Write 内容一覧

学年	Write	タイトル	テキストタイプ
1年	1	日本の学校生活を紹介するメールを書こう	電子メールの返信
	2	日記を書こう	日記
2年	1	おすすめの旅行先を紹介しよう	電子メールの返信
	2	日本の習慣やマナーを伝えよう	電子メールの返信
3年	1	中学校生活で打ち込んできたことを書こう	事実・感想文
	2	投稿文への意見を書こう	意見文



Focus on Form

Part の Target や Let's Talk の Key Expressions を系統的に整理します。どんなことを言いたいときに，どんな文構造・文法で表現したらよいか，丁寧に解説しています。


Focus on Form

1 未来表現

1 これからのことについて「～します」という意思を表すとき

Meaning & Use		Form
その場で決心したことを言うとき		●〈will＋動詞の原形〉を使います。主語が3人称単数であっても，will には -s を付けません。
	肯定文	I will call you when I arrive at the station.
	否定文	I will not tell anyone about this.
	疑問文	Will you come with us?
	応答文	Yes, I will. / No, I will not.
前もって決めている予定について言うとき		●〈am / are / is＋going to＋動詞の原形〉を使います。
	肯定文	My aunt is going to open a new store.
	否定文	We are not going to visit the museum.
	疑問文	Are you going to buy a new computer?
	応答文	Yes, I am. / No, I am not.

2 これからのことについて「～するだろう」という予測を表すとき

Meaning & Use		Form
これからのことを予測するとき		●〈will＋動詞の原形〉を使います。
	肯定文	Everyone will like your performance.
	否定文	The train will not arrive before noon.
	疑問文	Will it be cold today?
	応答文	Yes, it will. / No, it will not.
今の状況を根拠に「～しそうだ」と言うとき		●〈am / are / is＋going to＋動詞の原形〉を使います。
	肯定文	Look at those dark clouds. It is going to rain.
	否定文	Today is not going to be a good day.
	疑問文	Are we going to be late?
	応答文	Yes, we are. / No, we are not.

◆話し言葉では，主語が I，We，You，He，She，It，They のときに，I'll，We'll，You'll，He'll，She'll，It'll，They'll のような短縮形をよく使います。will not の短縮形は won't です。

Your Turn

あなたは，今週の日曜日に友達と遊ぶ予定があります。ペアになり会話をして，相手を誘いましょう。

例 *A:* I'm **going to** play tennis with Hina this Sunday. **Will** you come, too?
B: Sounds fun. How **will** the weather be?
A: It'll be sunny and warm.
B: Great. ...

seventeen 17

詳細な解説を掲載し，丁寧に指導できるようにしています。コミュニケーションを支える文法を定着させます。



Meaning & Use
どんなことを言いたいか，使用場面や意味を提示しています。

Form
文構造・文法を示しています。

Your Turn
Focus on Formでまとめたことを活用しながら，コミュニケーション活動を行います。

2年 p. 17

●Focus on Form 内容一覧

学年	Form	内容
1年	1	be 動詞／一般動詞／ can
	2	数えられる名詞と数えられない名詞
	3	疑問詞 (1) how many / what
	4	疑問詞 (2) where / when / what time
	5	主語が 3 人称のときの表現
	6	疑問詞 (3) what ＋ be 動詞 / who / whose
	7	現在進行形／「～に見える／聞こえる」の表現
	8	動名詞／ to ＋動詞の原形
	9	動詞の過去形
	10	疑問詞 (4) which
	11	when 節／過去進行形
	12	「__に…を」の表現／代名詞のまとめ

学年	Form	内容
2年	1	未来表現
	2	to ＋動詞の原形
	3	仮定・理由・時を表す接続詞
	4	さまざまな文構造
	5	比較表現
	6	受動態
	7	助動詞
3年	1	現在完了形／現在完了進行形
	2	英語の文構造
	3	後置修飾／＜疑問詞＋主語＋動詞＞を含む文
	4	「～に…させる」などの表現／仮定法過去

付録ページ

授業中の活動や家庭学習において活用できる，付録ページを掲載しています。

英語の学び方

「英語の学び方」では，生徒が自分自身で英語学習を進めていくために，語彙，音声，表現の観点から学習に役立つコツを紹介しています。


英語の学び方 3 英語力を鍛えるコツ

2年 p. 129

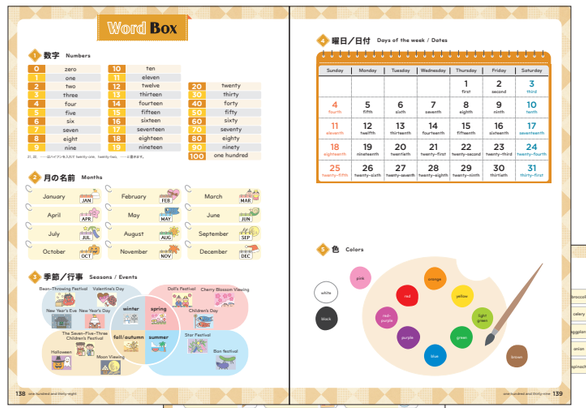
●英語の学び方 内容一覧

学年	学び方	タイトル	観点
1年	1	英和辞典の引き方	語彙
	2	英語を音読するコツ	音声
2年	1	英語を聞き取るコツ	音声
	2	英語でやり取りするときのコツ	表現
	3	英語力を鍛えるコツ	音声
3年	1	単語を覚えるコツ	語彙
	2	英文を読むコツ	語彙・表現
	3	英文を書くコツ	表現

Word Box

活動の際に役立つ語彙・表現をジャンルごとに掲載しています。教科書の活動に合わせてジャンルを選定しているので，自己表現の際，「こういうことを言いたいけれど英語でどう言うんだろうか」というときにサポートとなります。

●1年

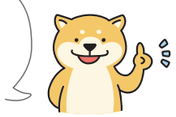

Word Box

1年pp. 138－139


Word Box

1年pp. 140－141

1年は Picture Dictionary のように**イラスト＋語彙・表現**のリスト，2・3年は**日本語訳＋語彙・表現**のリストです。



●2・3年


Word Box

2年 p. 141

題材紹介

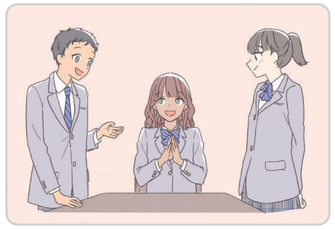
生徒を引きつける多様な題材で深い　学びを

※他教科での学習内容や，学校行事・活動と連携できる題材には🔗マークをつけています。

生徒の興味・関心を引きつける題材や，今日的課題についての題材など，
日常的な話題から社会的な話題まで，多様な題材を３年間で扱っています。
英語を学ぶとともに新しい知識や情報を得られるような題材を扱うことで，
生徒の世界を広げ，深い学びを実現します。

題材紹介1　自分を知る・相手を知る

日常生活・身近な話題



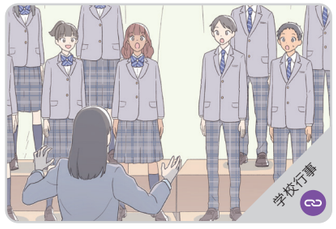
1年 Unit 1
Let's Be Friends!
新しい仲間との出会いを通して，相互理解を深めていきます。



1年 Unit 2
Club Activities
部活動の話題を通して，好きなこと・得意なことを伝え合います。



2年 Unit 1
Talent Show
姉妹校とのタレントショー開催を通して，相手の魅力や自主・自律性を学びます。



2年 Unit 6
Kiri on the Stage
合唱コンクールの練習・本番を通しての登場人物の成長・関係の深まりを描きます。

BLUE SKYの主な登場人物

BLUE SKYでは，４人の中学生を中心にPart本文の話が進んでいきます。それぞれ異なる性格，趣味，特技などを持っており，学年を追うごとに心身ともに成長していきます。自分との共通点を見つけたり，自分に置き換えて考えたりして，登場人物を身近に感じながら英語を学ぶことができます。



Sho（日本）
Tanaka Sho
（田中 翔）
野球部に所属。お菓子作りが趣味。動物が好きで，ペットを飼っている。優しい性格だが，緊張しやすい一面もある。



Hina（日本）
Mori Hinata
（森 ひなた）
地域のダンスクラブに所属。将来はプロダンサーになることが夢である。ミュージカルを見ることが好き。快活で行動力がある。



Kiri（ニュージーランド）
Kiri Jones
（キリ ジョーンズ）
中学入学時に日本に引っ越してきた。吹奏楽部に所属。歌うことが得意。おっとりとしていて，引っ込み思案な部分もある。



Jin（シンガポール）
Goh Jin
（ゴー ジン）
１年の途中で日本に引っ越してきた。バドミントン部に所属。ゲームをすることが好き。負けず嫌いな性格である。

題材紹介2　日本を知る・世界を知る

日本の伝統・文化



1年 Unit 6
My Aunt
Hinaが和菓子職人の叔母さんを紹介します。

異文化理解



1年 Unit 3
Hello, New Friend.
シンガポールから転校生がやってきます。転校生との交流を通して，シンガポールについて知ります。



1年 Unit 4
My Brother in Canada
カナダに住むShoの兄の紹介を通して，カナダの文化について学びます。



1年 Unit 5
A Fascinating Island in Hawaii
オンライン交流を通して，ハワイの観光名所や季節について知ります。また，時差についても学びます。



1年 Unit 8
Jin in London
Jinがいとこに会いにイギリスへ行きます。イギリスの観光名所や食べ物について知ります。



2年 Unit 3
Visiting Singapore
シンガポールの観光名所や法律を知ります。また，多文化の国である一面も学びます。

比較文化



1年 Unit 7
Our Sports Day
日本とニュージーランドの運動会の違いを学びます。



1年 Unit 9
Winter Vacation in New York
アメリカのニューヨークではどんな年末年始を過ごすのか学びます。



2年 Unit 2
Festivals in the World
日本と海外の祭りについて知ります。祭りがどんな目的で開催されているのかを考えます。



2年 Unit 7
World Heritage Sites
日本と海外の世界遺産について知ります。

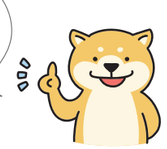


2年 Unit 8
Food Diversity
身近な食べ物の話題を通して，食の変化や食の多様性（信条，宗教など）について知ります。



3年 Unit 1
Trick Your Eyes with Art
日本・世界で広がった，だまし絵の歴史について学びます。

生徒の「もっと聞きたい！読みたい！知りたい！」という気持ちを引き出します。



題材紹介3 今日的課題と向き合い，地球市民としての心を育む

SDGsとは，地球上の人々がだれ1人として取り残されることなく，
安心して暮らし続けられる社会実現のために定められた17の目標です。
2030年までに達成が目指されています。達成期限が迫ってきた現在，
ますますSDGs達成への取り組みが重要になってきています。
BLUE SKYでは，題材を通して，生徒が日本や世界が抱える課題を正しく知り，
それを自分のこととして捉え，自分ならどうするか，何ができるかを考える
― そんな1歩を踏み出せるようサポートします。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

環境



1年 Unit 10
Plastic Waste

海洋ごみ問題の実態と，問題解決のために私たちができることについて学びます。



3年 Unit 5
Take Action on Climate Change

気候変動の原因・実態と，解決への取り組みを知り，自分には何ができるかを考えます。

防災・安全



2年 Unit 4
Preparing for Natural Disasters

Kiriたちの家族が参加した防災ウォーキングイベントを通して，自然災害への備えについて学びます。

平和



3年 Unit 2
Passing Down Memories

今も語り継がれる原爆の記憶について学びます。次の世代へと継承する取り組みについても紹介しています。

キャリア



2年 Unit 5
What is Your Dream?

職場体験についての話を通して，自分の将来について考えます。



3年 Unit 6
Working in the World (Read & Think)

大谷翔平選手はどのようにして夢を叶え，今もなお活躍し続けているのかを学びます。

共生



3年 Unit 3
Living Side by Side

人々の生活と野生動物・自然環境との共存への取り組みや工夫について学びます。



3年 Let's Read 2
English Is a Tool for International Communication

言語についての説明文を読んで，なぜ英語を学ぶのかを考えます。

科学技術・福祉



3年 Unit 4
Society for All

だれもが住みやすい社会のための技術開発やユニバーサルデザインの具体例を学びます。

人権・教育



3年 Unit 6
Working in the World (Part)

アフリカで貧困解消・教育の普及のためにNPOを立ち上げた栗山さやかさんの活動について学びます。

※本書のSDGsに関する内容は国連によって承認されたものではなく，国連や国連職員，加盟各国の見解を反映するものではありません。
https://www.un.org/sustainabledevelopment/

題材紹介4 英語を味わう

外国の物語



3年 Let's Read 1
The Wizard of Oz

日本の物語



2年 Let's Read 1
The Restaurant of Many Orders

伝記



2年 Let's Read 3
Charles Schulz

ノンフィクション



3年 Let's Read 3
Rocket Boys

教科書×ICTの活用で

広がる学び 深まる学び



個別最適な学び × **協働的な学び**

GIGAスクール構想により，1人1台端末環境が整備され，令和６年度からは小学校で，
令和７年度からは中学校で，児童生徒が使用する英語の「学習者用デジタル教科書」が無償給与されます。
学校でも家庭学習でも，ますますICTを活用する機会が多くなっています。
学びの姿は大きく変わったように見えますが，学びの本質は変わっていません。
生徒が「英語って楽しい!」「もっと学びたい!」と思えたり，学びの質を高められたりできるように，
デジタルコンテンツを充実させました。
個別最適な学び・協働的な学びを実現し，生徒の学びにより「広がり」「深まり」を持たせられるようサポートします。
日々進化するICT時代における学びに，BLUE SKYのデジタルコンテンツをぜひご活用ください。

QRコンテンツ

pp. 34－35　QRコンテンツの紹介

音声・動画を中心に，**学校での授業**でも，**家庭学習**でもお使いいただけるコンテンツを多数ご用意いたしました。教科書の音声をくり返し聞く，本文のアニメーション映像を見られることはもちろん，動画の**再生速度調整**や**字幕の切り替え**など，自己調整可能な機能を搭載しています。さまざまな場面で，生徒が主体的に学習を進められるようサポートいたします。

Part 1　青森ねぶた祭

Scene　英語の授業で，祭りについて調べて発表することになりました。Hina がスピーチをします。



What is the Aomori Nebuta Festival?

The Aomori Nebuta Festival is a famous summer festival in Japan with a long history. A nebuta is a large, lighted, and human-shaped float. About 20 floats with dancers and musicians parade down the

2年p. 20

ココを読み取る！

対応する紙面から直接コンテンツにアクセスできます。

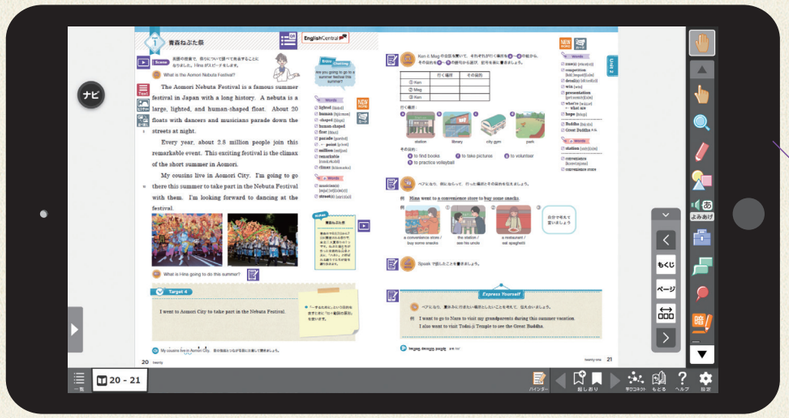
アクセスできるコンテンツ

- 本文音声／新出語句音声／リスニング音声
- 本文アニメーション映像／スライドショー映像
- Target の解説動画

デジタル教科書

pp. 36－39　デジタル教科書・教材の紹介

文部科学省から支給される**「学習者用デジタル教科書」**は，教科書紙面の閲覧に加えて，ペン・ふせんなどの基本的なツール機能，読み上げ・色反転などの特別支援機能，そして教科書QRコンテンツなどが使用できます。
「指導者用デジタル教科書（教材）」・**「学習者用デジタル教科書＋教材」**には，ピクチャーカード・フラッシュカード・資料映像など豊富なコンテンツを追加しており，先生の指導と生徒の学習をさらにサポートします。



より軽く，
より快適に動作する

機能を充実させながらも簡易な操作性を重視しました。紙面やコンテンツをさらに改良し，より軽く快適に利用できるようにしています。

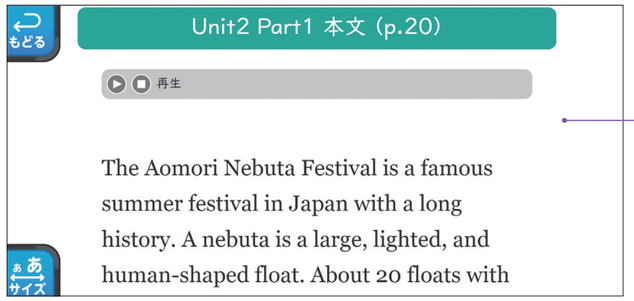
QRコンテンツの紹介

授業で必須の音声，内容理解に役立つ映像，
自学自習に活用できる映像などをご用意しています。
対応する紙面から直接アクセスできます。



① 教科書本文の音声

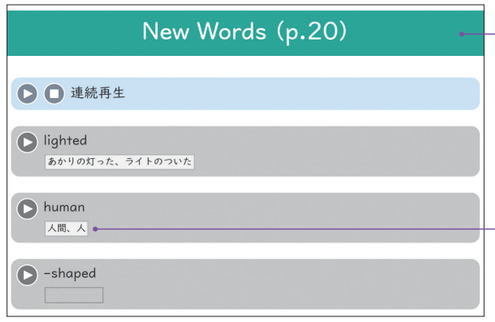
Unit, Let's Talk, Let's Write, Let's Read, Projectなど紙面に掲載されている英文の音声を聞くことができます。



英文を見ながら音声を聞くことができます。

② 新出語句の音声

紙面に掲載されている新出語句の音声を聞くことができます。



個別再生も**通し再生**も可能です。

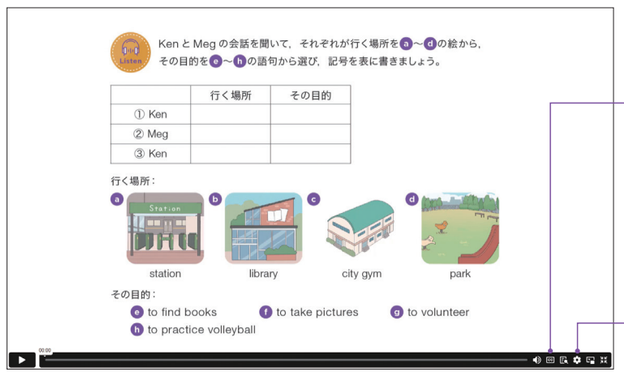
新出語句・和訳は,**マスク機能**で表示／非表示を切り替えることもできます。
和訳の例：



タップすると…　　**和訳が表示できる！**

③ リスニング音声

Unitのとびらや Partの Listen, Let's Listenなどリスニング問題の音声を聞くことができます。



字幕をオンにすることで，スクリプトを見ながら聞くことができます。
例：



再生速度の調整が可能です。

④ 本文アニメーション映像・スライドショー映像

本文を，アニメーション映像やスライドショー映像を見ながら聞くことができます。本文の目的・場面・状況をより意識することができます。

どちらも**再生速度の調整，字幕**のオン／オフの切り替えが可能です！



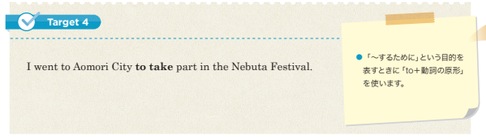
Unitの Part本文や Let's Talkのモデル会話の内容を，アニメーション化しています。

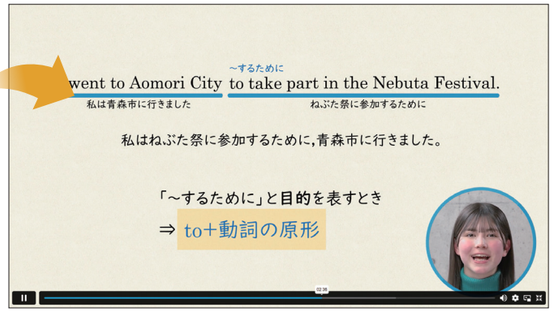


Unitの Read/Listen & Thinkや Let's Readの内容を，イラストや画像のスライドショーで表します。

⑤ Targetの解説動画

Partの Target(新出文構造・文法）の解説動画です。





1つ1つの Targetを丁寧に詳しく解説します！
授業の復習や自学自習に活用できます。

● QRコード掲載数とQRコンテンツ数

学年	QRコード掲載数	QRコンテンツ数
1年	72	**267**（音声：189，動画：78）
2年	70	**257**（音声：175，動画：82）
3年	51	**187**（音声：130，動画：57）
計	193	**711**（音声：494，動画：217）



1つのQRコードから，複数のコンテンツにアクセスできます！

※**無償給与版の学習者用デジタル教科書**でも同じコンテンツが利用できます。

ICT特集

デジタル教科書・教材の紹介

無償給与版

学習者用デジタル教科書

令和６年度から，小学校では英語の学習者用デジタル教科書が無償給与されており，令和７年度から，中学校でも無償給与されます。無償給与版では以下の機能を使用することができます。

● QRコンテンツ

教科書のQRコンテンツが，デジタル教科書では，アイコンをタップして利用できます。

p. 34－35　QRコンテンツの紹介

全 **711** コンテンツ

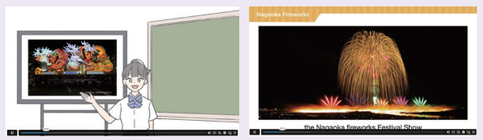
本文・新出語句の音声



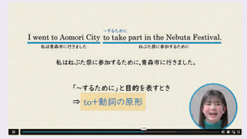
リスニング音声



アニメーション映像・スライドショー映像



Target の解説動画



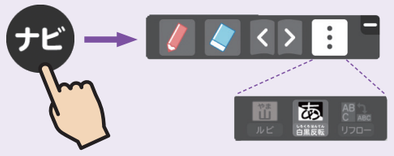
● 特別支援機能

紙媒体の教科書のみを使用して学習することが困難な生徒のための学習支援機能を搭載しています。



● ナビメニュー

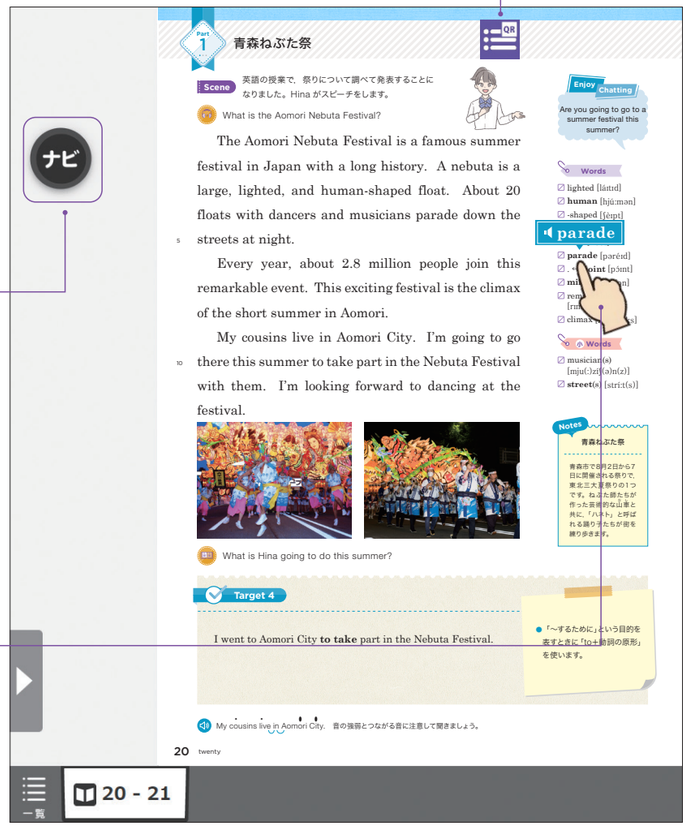
文部科学省仕様に準拠した，各社共通の操作用メニューを実装しています。

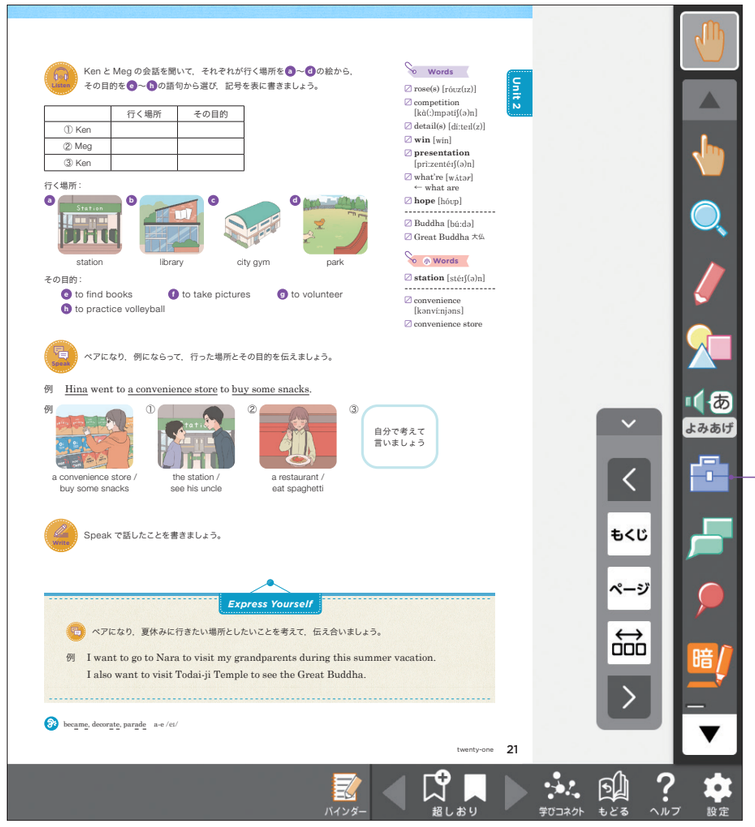


● タップで確認ー単語の読み方



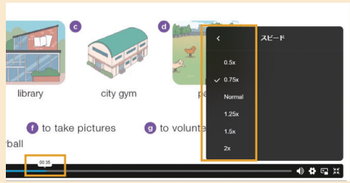
読み上げ機能を使用して，紙面の語句などをタップするとネイティブの発音を確認することができます。





● 速度変更・シークバー

音声の再生速度を自由に変えたり，音声や動画の再生位置を自由に変えたりすることができます。



● お道具箱

教科書の随所にあるQRコンテンツ等を整理し，「お道具箱」にまとめました。
タイマーなどの便利なツールも，ここから使用できます。



学習者用デジタル教材を購入すると，「お道具箱」にも一部コンテンツが追加されます。



商品ラインナップ

学習者用デジタル教科書（無償給与版）

文部科学省から支給される学習者用デジタル教科書です。**教科書紙面の閲覧**に加えて，**特別支援機能，音声の速度変更，教科書QRコンテンツの利用**などの機能が利用可能です。

学習者用デジタル教材

学習者用デジタル教科書に，さらに豊富なコンテンツを収録した学習者用デジタル教材（有料コンテンツ）を追加することができます。

p. 38

指導者用デジタル教科書（教材）

学習者用デジタル教科書＋教材で使用できる機能やコンテンツに加え，教師の負担軽減や授業を進めるのに役立つ機能やコンテンツを利用できます。

p. 39

※制作中のため，仕様および内容は変更になる場合がございます。

● 基本機能

- かき込み情報や拡大率を保存したり，「超しおり」をつけたページへ移動したりできます。
- 暗記したい部分を隠す線をかき込みます。線を押すと半透明／不透明の切り替えができます。
- ノートのように自由にかき込みができるページです。４線など，背景になるテンプレートも用意しています。



アイコンの並べ方は，自由にカスタマイズできます。

ICT特集

学習者用デジタル教材

学習者用デジタル教科書に，動画やフラッシュカードなど豊富なコンテンツを追加することができます。

おすすめ機能・コンテンツ

フラッシュカード

新出語句をフラッシュカード形式で表示します。英語→和訳，和訳→英語の切り替えや，フラッシュ間隔の調整なども可能です。



Part 本文の実写ドラマ

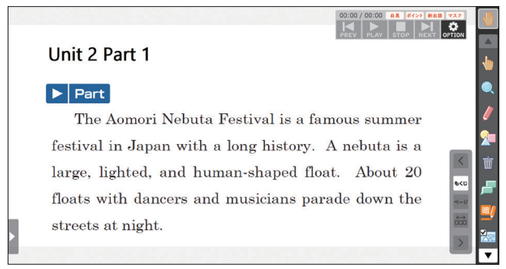
Part本文の内容を再現した実写ドラマ映像です。言語の使用場面や状況の確認に役立てられます。



テキスト画面

内容理解・音読のための機能を搭載しています。

表示：文字サイズ調整，新出語句表示，フレーズ区切り表示
マスク：選択した語句，ランダム，新出語句
再生：役割再生，再生回数調整，再生速度調整，カラオケ再生，シャドーイング再生 など



Check

Unitのふり返りの「Check」に取り組む際，４段階の自己評価に加えて，考えたことを入力することができます。「超しおり」機能を使用して，ほかの生徒や教師とやり取りすることができます。



このほかにも，
資料映像や
ピクチャーカード機能
などを搭載予定です。



体験版や詳しい内容はコチラから！

https://digi-keirin.com/r7-dtext/jeigo.html

English Central との連携

知が啓く。 啓林館 × EnglishCentral

UnitのPartやLet's Talkのアニメーション動画を使用した，English Centralのデジタル教材を実装予定です（学習者用デジタル教材・指導者用デジタル教科書（教材））。より正確な発音や語彙の定着，リスニング力の向上等のため，動画を使用したコンテンツやAIとのスピーキング・チャットのコンテンツを提供予定です。４技能の力をさらに伸ばします。

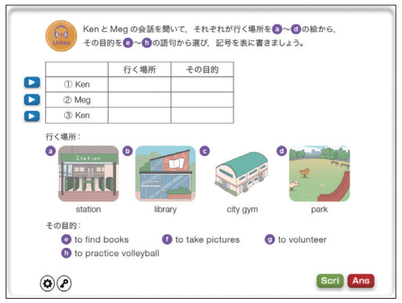
※制作中のため，仕様および内容は変更になる場合がございます。

指導者用デジタル教科書（教材）

左ページで紹介した学習者用デジタル教材に含まれているコンテンツは**すべて使用できます。**加えて，**解答表示**など先生方をサポートする機能やコンテンツを搭載予定です。

問題画面

教科書の問題の音声再生ができるほか，リスニングスクリプト全文や解答・回答例を表示することができます。



令和３年度版の指導者用と学習者用のデジタル教科書を使った授業の実践事例を，ホームページで公開しています。
教科ごとに様々な単元の事例があるので，ぜひご覧ください。

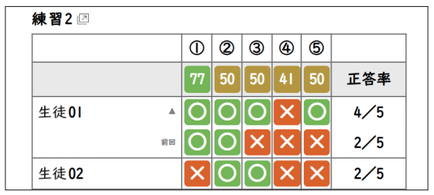
https://www.shinko-keirin.co.jp/keirinkan/digital/jissen/index.html



指導者用デジタル教科書（教材）と学習者用デジタル教材をあわせて使うと…

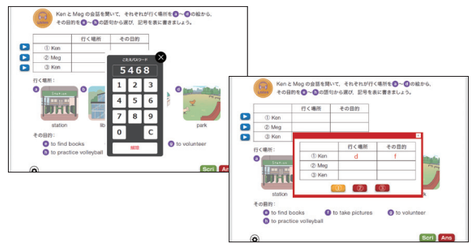
学習の進捗管理ができるようになります

学習者用デジタル教材や指導者用デジタル教科書（教材）の問題のコンテンツの一部などに集約機能を搭載予定です。学習者用デジタル教材を使用して生徒が問題を解いた際の進捗や正誤の状況が，指導者用デジタル教科書（教材）で確認できます。進捗や間違いやすい問題を把握することができ，**授業の進度調整**や**個別最適な学び**，**確実な基礎基本の定着**に役立てられる機能です。



学習者用デジタル教材でも問題の解答を確認できるようになります

今まで指導者用デジタル教科書（教材）のみに入れていた問題の解答を，指導者用デジタル教科書（教材）で**パスワード**を発行し，それを学習者用デジタル教材のコンテンツ内で入力することで，必要に応じて生徒も解答を確認することができるようになります。



● 運用方法　クラウド版になります！

啓林館側のサーバから配信され，各端末からはブラウザで使用する「クラウド版」での提供になります。端末へのインストール等の作業は不要ですが，アカウントの作成が必要です。オンライン環境が必須です。



動作環境　※基本的にはオンライン環境が必須です。	
Windows	**OS：**Windows11，10（64bit日本語版）を推奨 ※Sモードは対象外 **ブラウザ：**Google Chrome，Microsoft Edgeの最新版を推奨／**解像度：**1366×768以上（1920×1080程度を推奨） **メモリ：**4GB以上／**画面の表示色数の設定：**32ビットカラー **CPU：**Core i3以上を推奨（2016年８月以降発売のCeleronでも動作を確認しています。）
iPad	**OS：**最新２バージョン／**ブラウザ：**Safari最新版を推奨／**解像度：**Retina解像度のiPad **対象端末：**最新２バージョンのOSをサポートするもの（動作確認済みiPad，iPad Air）
Chromebook	**OS：**Chrome OS最新版／**ブラウザ：**Google Chrome最新版を推奨 **解像度：**1366×768以上／**メモリ：**4GB以上

ICTはここでこう活用できる！ 活用例の紹介

QRコンテンツ，学習者用デジタル教材や指導者用デジタル教科書（教材）のコンテンツを，
授業や家庭学習でどのように活用できるか，その活用例を紹介します。

QRコンテンツの活用

とびら　1年のUnitの学習において



1年p. 11

● Listenの音声を聞く

再生速度を調整したり，**くり返し**何度でも聞いたりできるので，個別最適な学びにつながります。また，字幕をオンにすることで，**スクリプト**を表示することができるので，音と文字の一致にも役立ちます。

● Part 1～3本文の通し音声を聞く

とびらのQRコードからは，後に続く**Part 1～3本文の通し音声**を聞いたり，**通しアニメーション映像**を見たりすることができます。これから学習する内容を推測しながら概要を捉えます。

家庭学習で！　新出語句の音声を聞いて練習したり，マスク機能を使用して，覚えられているか確認したりできます。

Part

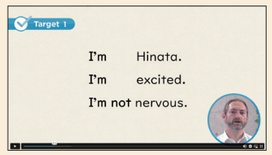
1年pp. 12－13

● 本文のアニメーション映像を見る

アニメーション映像で，Part本文のコミュニケーションの場面や状況を視覚的に確認しながら，本文の導入ができます。アニメーション映像も，再生速度の調整や字幕のオン／オフの切り替えが可能です。

家庭学習で！

Targetの解説動画を視聴して，授業で学んだ文法を復習します。
※予習としても活用できます。



Think & Speak



1年p. 18

● Listenの音声を聞く

PartのListenでも，Think & SpeakのStep 1でも，再生速度を調整して聞いたり，くり返し聞いたりできます。また，字幕をオンにして，スクリプトを表示しながら聞くこともできます。



指導者用デジタル教科書（教材）・学習者用デジタル教科書＋教材の活用例

とびら　2年のUnitの学習において



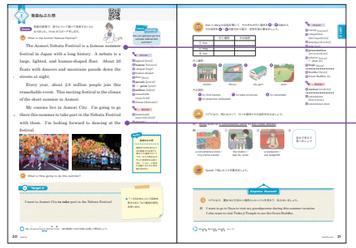
2年p. 19

● Listenの音声を聞く

教科書のリスニング音声を再生できます。**スクリプト全文**や**解答・回答例**は，指導者用デジタル教科書（教材）で表示できます。また，指導者用でパスワードを発行すると，学習者用デジタル教材からも解答・回答例を表示することができます。

家庭学習で！　新出語句の予習・復習に，**フラッシュカード**を活用できます。

Part



2年pp. 20－21

● Part本文の実写ドラマを見る

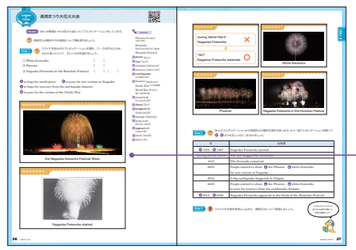
実写ドラマ映像で，本文の場面や内容を確認することができます。実写映像なので，イメージがわきやすく，導入に最適です。

● 本文を聞く・音読する

読み上げているところが分かりやすくなるように**カラオケ表示**をしたり，文章に**マスク**をかけるなど，音読に活用できるさまざまな機能があります。活動内容に合わせてカスタマイズ可能です。

家庭での音読練習にも◎

Listen & Think



2年pp. 26－27

● 資料映像を見る

本文で扱っている題材をより深く知ることができ，より生徒の**興味・関心**を喚起できます。



Think & Speak



2年p. 28

● Checkで学習をふり返る

4段階の自己評価＋自由記述で，単元の学習のふり返りを記録として残すことができます。「超しおり」機能を使用して，**記録の送受信**も可能です。

BLUE SKYの

気になるアレコレQ&A

Q1 高校入試やテストへの対応，中高連携のために必要な力はどのように育成できますか？

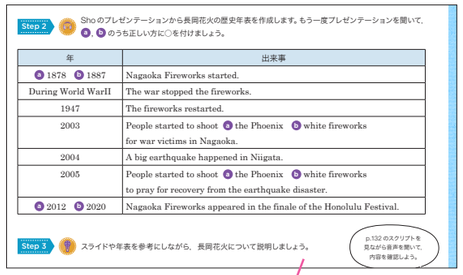
A 聞く・読む量を段階的に増やし，聞くこと・読むことの思考力・判断力・表現力を育成します。



近年の高校入試，全国学力調査や外部試験などでは，聞く量・読む量ともに増加しています。また，高校英語で扱われる聞く・読む文章も分量増加の傾向があります。
BLUE SKYでは，聞く・読む量を学習段階に応じて増やして，徐々にまとまりのある分量を聞き取る・読み取る力を養っていきます。また，聞き取って・読み取って終わりではなく，内容をアウトプットする活動も設定しています。

Listen 「聞くこと」について

3学年通して，様々な場面・状況での会話やスピーチ,プレゼンテーションなどを聞き取ります。身近な話題についての会話から，社会的な話題についてのスピーチまで，学習段階に応じて扱っています。どのコーナーも，3ステップで聞き取り課題を設定しているので，**必要な情報や話の概要・要点を聞き取る力**を育成することができます。また，最後のStep 3では聞き取った内容を**要約して発信する**活動や，聞き取った内容をもとに**自分の考えを表現する**活動を設定しています。



2年p. 27

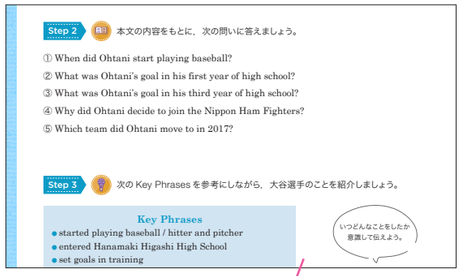
目的や場面，状況に応じて，「何を・どのように」聞けばよいかを判断し，理解する力を養います。

スクリプトの語数

- Listen & Think (Unit)
  2, 3年：170～200語程度
- Let's Listen
  1年：40～110語程度
  2年：80～150語程度
  3年：100～150語程度

Read 「読むこと」について

3学年通して，多種多様なテキストタイプの文章を読み取ります。身近な話題についての会話文やメール，物語から，社会的な話題についてのスピーチや説明文まで，学習段階に応じて扱っています。どのコーナーも，3ステップで読解課題を設定しているので，**文章の概要や要点，詳細を読み取る力**を育成することができます。また，最後のStep 3では読み取った内容を**要約して発信する**活動や，読み取った内容をもとに**自分の考えを表現する**活動を設定しています。



3年p. 86

まずは概要や要点を捉え，その後詳細を捉えていく，文章を読み取る力を養います。

本文の語数

- Read & Think (Unit)
  2年：100～200語程度
  3年：250～350語程度
- Let's Read
  1年：75～330語程度
  2年：390～540語程度
  3年：620～930語程度

A 今後の英語学習に活きる「学び方のコツ」を紹介し，自律的学習者を育成します。



「英語の学び方」では，生徒が自分自身で英語学習を進めていくために，語彙，音声，表現の観点から学習に役立つコツを紹介しています。学習内容が増え，より自学自習が重要になってくる高校でも，その先の学習でも活きる学び方をサポートします。

2年 英語の学び方 ③

英語力を鍛えるコツとして，さまざまな英文音読方法を紹介しており，授業でも家庭学習でも役立てていただけます。徐々に音読方法のレベルを上げて練習することで，英語を聞く力，話す力や読む力が身につきます。



2年p. 129

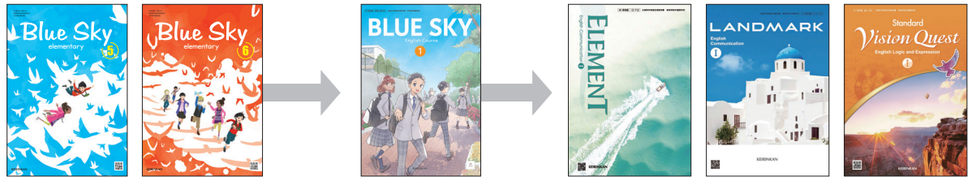
3年p. 4

3年 英語の学び方 ①

単語を覚えるコツとして，接頭辞・接尾辞について紹介しています。いくつかの接頭辞・接尾辞を示し，単語を覚えるときや，文章中の単語の意味を推測して読むときなどに活かし，語彙力を広げます。

小・中・高の英語教科書を発刊する会社ならではのスムーズな連携

小学校英語 → 中学校英語 → 高校英語



「もっと知りたい」「もっと話したい」「英語って楽しい」を大切にし，確かな学力や考える力を養います。

小学校で学んだことを整理して，さらに英語力を伸ばしていきます。また，高校での英語学習に向けての基盤を固めます。

オーセンティックな題材に触れたり，まとまった文章を書く・話す活動をしたりして，中学校での学びを深め，4技能5領域をバランス良く育成します。

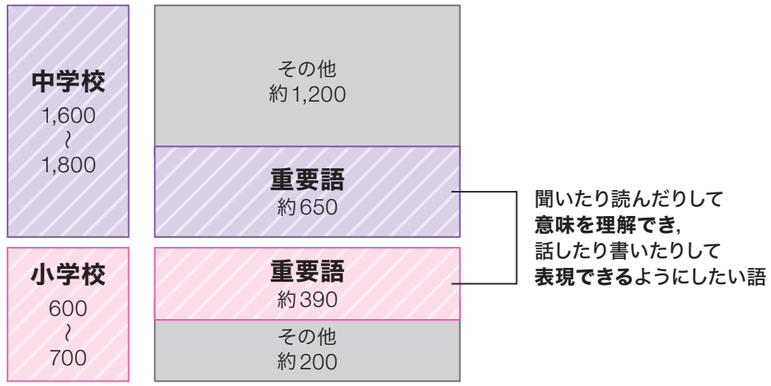
Q2 語彙の扱いについて教えてください。

A 重要語を太字で示し，語彙の指導に軽重をつけられるようにしています。



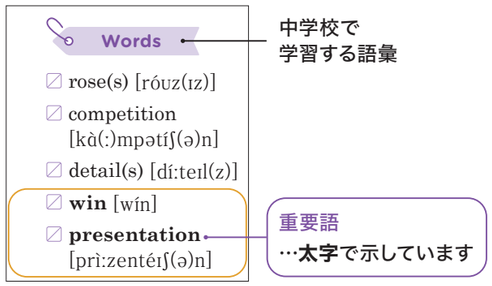
語彙の選定

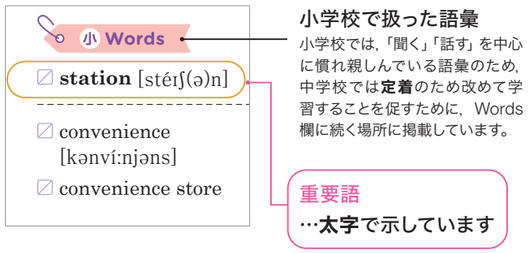
学習指導要領では，小学校で扱った600～700語に，1,600～1,800語を加えた語を中学校で扱うように示されています。また，生徒の発達段階に応じて，**受容レベル（聞いたり読んだりしたとき意味がわかる）**の語彙と**発信レベル（話したり書いたりして表現できる）**の語彙の区別を意識して指導することが求められています。
BLUE SKYでは，CEFR-Jの語彙リストや複数のコーパス，過去の小・中学校教科書などに基づき，小学校で学習したとみなす語彙と中学校で学習する語彙を選定しています。その上で，それぞれの語彙の中から**重要語**を選定しています。この重要語とは，**中学生が英語を聞いたり読んだりすることを通して意味を理解でき，話したり書いたりして表現できるようにしたい語**であることを表しています。



語彙の示し方

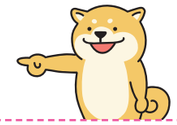
教科書上のすべての語彙を定着させる必要はありません。指導に軽重をつける際は，教科書での**太字**・細字などを参考にしてください。また，学習指導要領解説p. 34に「…**ある生徒が「関心のある事柄」について話したり書いたりするのに必要な語彙は，別の生徒には当面は話したり書いたりできる必要はないといったことが考えられることから，受容語彙と発信語彙は一律には規定されないという点にも留意するべきである。**」と書かれていることから，BLUE SKYでは，受容語彙と発信語彙の表示はしていません。





Q3 教科書の全部を扱うと時間が足りなくなるのでしょうか？

A 余裕を持たせた配当時数と，指導・活動のメリハリで，授業の充実を図ります。



配当時数

週4時間（**年間140時間**）の中で，余裕を持って授業を進められるように配慮しました。
3年は，高校入試の時期を考慮した配当時数としています。

pp. 50－55 単元一覧表

● 3学期制の場合

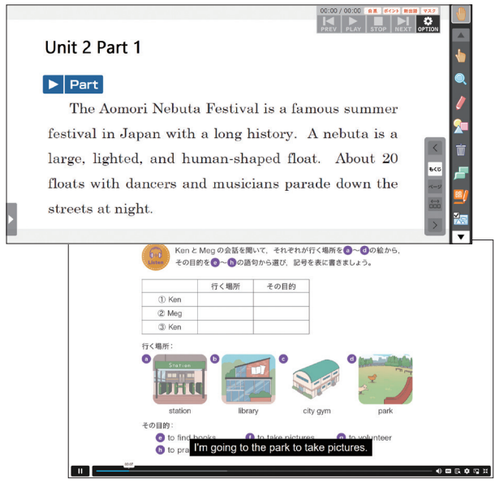
	1学期	2学期	3学期	計
1年	37	40	26	**103**
2年	39	38	32	**109**
3年	40	41	9	**90**

教科書の扱いについて

BLUE SKYは，UnitやProject，Let's シリーズ，Focus on Form，英語の学び方など，さまざまなコーナーで構成されています。ご使用にあたっては，教科書に示されている内容のすべてを一律に扱う必要はありません。
各学校の目標や生徒の実態などに合わせて，メリハリをつけて指導や活動をおこなっていただきたいと考えています。
例えば，以下のようなメリハリが考えられます。

- 本文やリスニングスクリプトなどの内容理解については，すべてを精読する必要はなく，目的に応じて聞いて・読んで，必要な情報や概要，要点を捉えるまでとする
- 語彙指導は，太字で示されている重要語を中心とする
- 授業内で取り組む言語活動と宿題として取り組む言語活動を設定する

QRコンテンツやデジタル教科書のコンテンツなども併せてご活用ください





観点別特色

[略号]
U=Unit / Pr=Project
LL=Let's Listen / LR=Let's Read
LT=Let's Talk / LW=Let's Write

データのダウンロードはこちらから
https://www.shinko-keirin.co.jp/keirinkan/chu_r7/english/kanten.docx

❶ 教育基本法への対応

観点		特色		具体例	
1	**幅広い知識と教養，豊かな情操と道徳心を培う。**	①	コミュニケーションにおいて大切なことに触れる機会を多数設け，**聞き手および相手に配慮した伝え方**を考えます。	①	全体
		②	言語活動を通して，伝え方や使えるフレーズを学び，**コミュニケーションに活かせる知識**を身に付けます。	②	全体
		③	題材を通して，世界の人々の生活や文化を知ることで，**幅広い知識と教養**を身に付けます。	③	1年：U8 (p.87－94) ／2年：U3 (p.33－42) ／3年：U1(p.5－15)，LL1(p.42) など
		④	生徒が共感できる題材や，登場人物が互いを思いやる姿から**豊かな情操と道徳心**を培います。	④	1年：U1(p.11－18)，LR2(p.128－131) ／2年：U6(p.75－84) ／3年：LL2(p.89) など
2	**自主・自律の精神を養い，勤労を重んずる態度を養う。**	①	個人の考えを大切にしながら，学習の見通しを立てたり，振り返ったりすることで，**主体的に学習を進められる**ようにしています。	①	全体
		②	題材や言語活動を通して，他者について深く知り，**自主及び自律の精神**と**個人の価値を尊重する態度**を養います。	②	1年：U2(p.21－28)，U3(p.33－40)，U6(p.65－72) ／2年：U1(p.5－14) など
		③	将来の夢とそれを実現するために必要なことを考えたり，世界で活躍する人物の生き方や成し遂げたことを学んだりして，**勤労を重んずる態度**を養います。	③	2年：U5(p.63－72)／3年：U6(p.77－87) など
3	**正義と責任，男女の平等，自他の敬愛と協力を重んじ，公共の精神に基づき，主体的に社会の形成に参画し，その発展に寄与する態度を養う。**	①	イラストや写真において，固定観念で性の区別をしない，男女の社会的役割を平等にするなど，**ジェンダーへの配慮**をしています。	①	全体
		②	ペアやグループで取り組むコミュニケーション活動を豊富に用意し，他者と協働することで言語面や態度面などにおける様々な気づきが生まれるようにしています。	②	全体
		③	社会的な題材について考えることで，**地域社会の一員として主体的に社会の形成に参画し，その発展に寄与する態度**を養います。	③	2年：U4(p.49－58) ／3年：U4(p.51－61)，U5(p.63－72) など
4	**生命を尊び，自然を大切にし，環境の保全に寄与する態度を養う。**	①	環境問題や環境保全活動を知ることを通して，**生命や自然を大切にする心を育み，環境の保全に寄与する態度**を養います。	①	1年：U10(p.113－120) ／2年：U7(p.95－104) ／3年：U3(p.31－40)，LL3(p.99) など
5	**我が国と郷土を愛するとともに，他国を尊重し，国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う。**	①	日本や自分が住む地域の魅力を世界に発信する活動を通して，**自国と郷土に対する理解を深め，愛する心**を育てます。	①	1年：U7(p.77－84) ／2年：LW1(p.32)，Pr1(p.44－45)，U8(p.109－118) など
		②	国際理解を深める題材や言語活動を通して，**他国を尊重する態度**や**国際社会の平和と発展に寄与する態度**を養います。	②	1年：U5(p.55－62)，U7(p.77－84) ／2年：U2(p.19－28)，U8(p.109－118)など

❷ 学習指導要領への対応

観点		特色		具体例	
1	**外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせる力を養う。**	①	Unitの題材やLet's シリーズ (Listen, Read, Talk, Write) などで，**外国語やその背景にある文化に対する理解**を深められるようにしています。	①	全体
		②	各単元の言語活動を充実させて，コミュニケーションを行う**目的・場面・状況**に応じて，**思考・判断・表現**する力を養います。	②	全体
2	**外国語についての知識を理解し，コミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付ける。（知識・技能）**	①	各PartのListen & Repeatでは，本文を抜粋して，**発音や強勢，イントネーション，文の区切り**を学びます。英語の発音とつづりでは，単語例とともに1種類ずつ英語の**発音とつづり**を押さえます。1年巻末付録の発音とつづりでは，まとめて整理しています。	①	Part脚注「Listen & Repeat」，「英語の発音とつづり」／1年巻末付録「発音とつづり」
		②	新出語句のうち，**特に重要な語は太字**で示しており，語彙指導に軽重をつけられるようにしています。また，巻末付録Word Boxでは，カテゴリーごとに語彙を整理し，言語活動に関連させて語彙を習得・活用できるようにしています。	②	全体
		③	各UnitのTargetのコーナーでは，**文構造・文法**を丁寧に説明しています。Focus on Formでは，系統的に整理して，詳しい説明を掲載することで定着を図ります。	③	Unit, Focus on Form
		④	「聞く」「読む」「話す」「書く」活動は**スモールステップ**で，全体を通して**バランスよく**設定し，各技能を確かに習得させます。	④	全体

観点		特色		具体例	
3	**コミュニケーションの目的・場面・状況などに応じて，外国語で情報や考えなどを理解し，表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。（思考力・判断力・表現力）**	①	コミュニケーションの**目的・場面・状況**を明示し，生徒がそれらを意識しながら活動をできるようしています。	①	全体
		②	**「聞く・読む」**については，何を聞き取ったり読み取ったりするかを考えたり，理解した内容を整理して表現したりする活動に取り組むことで，**思考力・判断力・表現力**を養います。	②	Unit (Listen & Think, Read & Think), Let's Listen, Let's Read など
		③	**「話す・書く」**については，場面や状況に応じて伝える内容や構成，表現を考えて伝える活動に取り組むことで，**思考力・判断力・表現力**を養います。	③	Unit (Think & Speak, Think & Write)，Let's Talk, Let's Write など
4	**外国語の背景にある文化に対する理解を深め，主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。（学びに向かう力，人間性）**	①	海外の文化や生活を紹介する題材や，英語を学ぶ意義を考える題材を取り扱い，**外国語の背景にある文化に対する理解**を深められるようにしています。	①	1年：U9(p.101－108) ／2年：U3(p.33－42)／3年：LR2(p.92－96) など
		②	活動の目的・場面・状況を明示し，**聞き手，読み手，話し手，書き手に配慮しながらコミュニケーションを図る態度**を養うようにしています。	②	Unit，Let's Listen，Let's Talk, Let's Write, Project
		③	英語の学び方では，語彙，音声，表現の観点から英語学習に役立つコツを紹介しています。自分自身で考えて英語学習を進めていく，**自律的学習者**を育成します。	③	英語の学び方
		④	CAN-DO Listでは，各学年の学習到達目標と教科書での関連項目を明示するとともに，各Unitのとびらには Unitの目標を明示し，単元末ではCheckでふり返りの機会を設けて，**主体的に学習に取り組む態度**を育てます。	④	CAN-DO List, Unit (とびら，Think & Speak，Think & Write)
5	**4技能5領域について，バランスのとれた力を養う。**	①	**5領域の言語活動をバランスよく配置**しています。また，活動には該当する領域のマークを表示して，身に付ける領域を明確にしています。	①	全体
		②	Projectでは，**複数の技能領域を統合的に活用**して，コミュニケーション活動を図れるようにしています。	②	Project
		③	各技能に特化したLet'sシリーズ (Listen, Read, Talk, Write) を設置し，**実践的なコミュニケーション能力**を育成します。	③	Let's Listen, Let's Read, Let's Talk, Let's Write

❸ 教科書の構成上の配慮と工夫

観点		特色		具体例	
1	**内容**	①	各学年の学習到達目標を**CAN-DO List**で明示し，各目標に向かって学習の見通しを立てられるようにしています。	①	CAN-DO List
		②	各単元の冒頭には**目標**を明示しています。Unitの目標は，**InputとOutputの技能**を各1つで設定し，単元末には**ふり返り・自己評価**をする機会を設けています。	②	全体
		③	主単元の**Unit**では，**生徒の興味・関心を喚起する題材**を扱っています。また，文法・文構造や語彙の定着を図り，**5領域の力をバランス良く育成**する構成にしています。	③	Unit
		④	**Let's シリーズ**では，実生活に即した場面や題材を取り上げて，実践的なコミュニケーション能力を育成します。	④	Let's Listen，Let's Read，Let's Talk, Let's Write
		⑤	**Project**では複数のUnitでの学習事項を活かしながら，技能統合的な活動に取り組みます。	⑤	Project
		⑥	**Focus on Form**では，各PartのTargetなどで取り上げた文法・文構造を系統的に整理して，コミュニケーションに必要な知識を身に付けることができます。	⑥	Focus on Form
		⑦	巻末の**Word Box**を参考にして言語活動を行ったり，**Word List**で語彙の意味を確認したりすることを通して，基礎・基本の定着が図れるようにしています。	⑦	Word Box, Word List

観点別特色

観点		特色		具体例
2	配列	①	小学校での既習事項や，各学年の目標などに基づき，**言語材料の配列**を工夫しています。	① 全体
		②	内容理解活動や発信活動は3つのStepを設定し，スモールステップで取り組めるようにしています。	② Unit(Listen/Read & Think, Think & Speak/Write)，Let's シリーズ，Project
		③	**「聞く・読む」**活動では，何を聞き取るか・読み取るかを考えて取り組み，理解した内容を整理して表現することで，**思考力・判断力・表現力**を養います。	③ Unit(Listen/Read & Think)，Let's Listen, Let's Read など
		④	**「話す・書く」**活動では，場面や状況に応じて伝える内容や構成，表現を考えて発信活動に取り組むことで，**思考力・判断力・表現力**を養います。	④ Unit(Think & Speak/Write)，Let's Talk, Let's Write など
3	分量	①	年間配当時数は，**1年103時間，2年109時間，3年90時間**なので，余裕を持って指導できます。	① 全体
		②	小学校英語の流れも汲みながら，学習段階に応じて聞く・読む分量を増やすことで，聞く・読む力を着実に育成します。	② Unit（Part，Listen & Think, Read & Think)，Let's Listen, Let's Read など
		③	3年間で約2,400語程度（小学校既習語を含む）に触れられるようにしています。	③ 全体
4	小中連携	①	1年巻頭に小中接続教材**Let's Start**を設定し，小学校英語での学習事項を振り返り，中学校の学習に繋げます。	① 1年：Let's Start(p.4－10)
		②	小学校で音声で慣れ親しんだ語彙は，**新出語句とは区別して表示**して，語彙指導に活かせるようにしています。	② 新出語句欄 小 Words
		③	主に1年Unit 1～5で，**小学校で慣れ親しんだ表現を文法的に整理**し，確かな定着を図ります。	③ 1年：U1～U5 など
5	中高連携	①	学習段階に応じて，聞く・読む分量を増やしたり，活動を設定したりして，高校での学習にも対応できる力を育成します。	① Unit（Part，Listen & Think, Read & Think)，Let's Listen, Let's Read など
		②	**英語の学び方**では，中学卒業後も英語学習を続けていけるように，効果的な英語学習のヒントを紹介しています。	② 英語の学び方
6	カリキュラム・マネジメントへの取り組み	①	他教科との連携を図り，**教科横断的な学習**ができるようにしています（国語，社会科，理科，美術など)。	① 1年：U5(p.55－62)／3年：U1(p.5－15) など
		②	体育祭，職場体験，修学旅行，郷土や伝統文化，安全・防災，環境問題などを題材として取り上げ，**学校の教育課程や目標との連携**が図れるようにしています。	② 1年：U7(p.77－84)／2年：Pr1(p.44－45)，U5(p.63－72)／3年：U2(p.17－27) など
		③	登場人物や場面をしっかりと設定しているので，ラウンド・システムにも対応し，スムーズに授業を進めることができます。	③ 全体
7	人権，福祉，国際理解・異文化理解，ジェンダーへの配慮	①	世界の様々な話題を取り上げて，日本との違いや共通点などに気づかせるなど，**国際理解・異文化理解**を深められるようにしています。	① 1年：U9(p.101－108)／2年：U2(p.19－28)，など
		②	教科書には，**様々な人種・民族**の人々を登場させています。	② 全体
		③	固定観念で性の区別をしない，男女の社会的役割を平等にするなど，**ジェンダーへの配慮**をしています。	③ 全体
8	防災教育への配慮	①	自然災害への備えや災害発生時の対応を考える機会を設け，**安全・防災への意識**を高められるようにしています。	① 2年：U4(p.49－58) など
9	キャリア教育への配慮	①	職場体験や世界で活躍する人たちを題材に取り上げることで，**自分の将来**について考える機会を設けています。	① 2年：U5(p.63－72)／3年：U6(p.77－87) など
10	SDGs（持続可能な開発目標）・環境教育への配慮	①	3学年を通して**SDGsの17の目標**に関する題材を，豊富に取り上げています。SDGsへの関心を高めるとともに，自分ができることを様々な視点から考える助けとなるようにしています。	① 1年：U10(p.113－120)／2年：U4(p.49－58)／3年：U3(p.31－40)，U5(p.63－72) など pp. 30－31	題材紹介

観点		特色		具体例
11	1人1台端末環境への対応	①	**QRコード**から音声や動画などのデジタルコンテンツをくり返し視聴するなど，個別最適な学びができるようにしています。	① 全体
		②	速度変更のできる音声の再生機能や特別支援機能が付いており，生徒のかき込みが保存できる，**学習者用デジタル教科書**を発刊します。	② 全体
12	教師支援・「働き方改革」への配慮	①	各Unitの活動やLet's シリーズの活動の**構成を一定**にすることで，指導しやすくしています。	① Unit, Let's シリーズなど
		②	Unitの各Partは見開きで2時間設定など，**配当時間に余裕を持たせ**，着実に授業が進められるようにしています。	② 全体
		③	**デジタルコンテンツ**を充実させ，**指導書**には朱註や指導案集，ワークシート集などを用意し，授業スタイルに合わせて活用できるようにしています。	③ 全体
13	オールイングリッシュへの配慮	①	小学校から慣れ親しんでいる**教室英語**を活用して，授業を進めやすい題材を扱っています。	① 全体
		②	PartのEnjoy ChattingやLet's Talkなど，**即興的なやり取り**を促せる題材を設定しています。	② Enjoy Chatting，Let's Talk など
		③	指導書に**指示文の英訳**や**使用英文例**を掲載しています。	③ 全体
14	特別支援への対応	①	目標を明記したり，主となるページでは学習項目の位置を固定したりして，生徒と指導者が安心して学習ができる基本構成となるように配慮しています。	① 全体
		②	1年の欧文フォントは，多くの人が認識しやすい**UDフォント**を使用しています。また，小学校で使用している**5：6：5の4線**を掲載し，大文字も小文字も書きやすく区別しやすくしています。	② 1年全体 UD FONT
		③	個人の特性にかかわらず内容が伝わりやすい配色やシンプルなイラストを使い，**メディア・ユニバーサルデザイン協会（MUD)**による検証を行っています。	③ 全体 MUD Media Universal Design
		④	**デジタル教科書**や**拡大教科書**を用意し，生徒の様々な学習形態に対応できるようにしています。	④ 全体
15	家庭学習・自学自習への対応	①	紙面にQRコードやURLを掲載し，家庭でも音声や動画を使って学習できるようにしています。再生速度調整機能を実装し，**個別最適な学び**を目指しています。	① 全体
		②	**英語の学び方**で，効果的な英語学習のヒントを紹介しています。	② 英語の学び方
16	家庭や地域との連携	①	家族など身近な人やホストファミリーの紹介などを取り上げ，生徒が**家庭における役割**について意識できるようにしています。	① 1年：U4（p.43－50），U6(p.65－72) など
		②	題材として世界の文化やユニバーサルデザインの導入例，地域奉仕活動などを取り上げ，**生徒自身が住んでいる地域**についても意識できるようにしています。	② 2年：U2（p.19－28），U8(p.109－118)／3年：U4(p.51－61)，LW2 (p.100) など
17	衛生，感染症対策・臨時休校等への配慮	①	感染症流行時等に，生徒自身で学習を進めることができるよう，学習に必要なほとんどの音声や映像，文法解説動画を**QRコード**から視聴できるようにしています。	① 全体
18	文字・印刷・用紙・製本	①	1年の欧文フォントは，多くの人が認識しやすい**UDフォント**を使用しています。	① 1年全体
		②	**余白部分，行間スペース**に配慮し，文章が読みやすくなるように配慮しています。	② 全体
		③	大きな判型（**A4判**）を採用して，イラストや写真を効果的に掲載することで，学習効果が上がるように配慮しています。	③ 全体
		④	開きやすく，堅牢な**PUR製本**を採用しています。	④ 全体
		⑤	書き込みやすく消しやすい，**軽量で丈夫な用紙**を採用しています。	⑤ 全体
		⑥	アレルギーや環境に配慮し，**植物油インキ・再生紙**を使用しています。	⑥ 全体
19	個人情報の取り扱い	①	当社が取り扱うすべての個人情報（デジタル教科書等で取り扱う個人情報）について，社会的使命を十分に認識し，本人の権利の保護，個人情報に関する法規制等を遵守します。（プライバシーマーク取得済）	

単元一覧表（1年）

［略号］
L＝聞くこと／R＝読むこと／S(I) ＝話すこと（やり取り）／
S(P) ＝話すこと（発表）／W＝書くこと
◎＝特に重点を置いて育成する技能，○＝扱う技能

データのダウンロードはこちらから
https://www.shinko-keirin.co.jp/keirinkan/chu_r7/english/curriculum.html

月	単元タイトル	項目	言語材料・内容	主な領域 L	R	S(I)	S(P)	W	★言語の使用場面 ◆言語の働き	配当時数
4	Let's Start 1 学校での会話を聞こう		小学校で「聞く」「話す」で慣れ親しんだ語句や表現を含む英文を聞く	◎					★学校，学習，活動 ◆話し掛ける，歓迎する，説明する，質問する，命令する	1
4	Let's Start 2 コミュニケーションを楽しもう		小学校で「聞く」「話す」で慣れ親しんだ語句や表現を使って，やり取りをする	○		◎			★生活 ◆相づちを打つ，説明する，質問する	1
4	Let's Start 3 英語の文字と音を確認しよう		アルファベットや単語の音を聞いたり，発音したりする	○	○			○		1
5	Unit 1 Let's Be Friends!	Part 1～3	1人称のbe動詞am(肯定文・否定文)／ 1人称の一般動詞（肯定文・否定文）／ 助動詞can(肯定文・否定文)	○	○	○	○	○	★学校，生活，自己紹介 ◆相づちを打つ，褒める，発表する，質問する	7
5		Think & Speak	姉妹校の生徒に対して，自己紹介をする	◎			◎	○		
5	Unit 2 Club Activities	Part 1～3	2人称のbe動詞are(疑問文)／ 2人称の一般動詞（疑問文）／助動詞can(疑問文)	○	○	○	○	○	★学校，活動，生活 ◆相づちを打つ，説明する，約束する，質問する	7
5		Think & Speak	ペアやグループでインタビューをする	◎		◎		○		
5	Focus on Form 1 be動詞／一般動詞／can		1・2人称のbe動詞（am, are）／1・2人称の一般動詞／助動詞 can を整理する			○				1
6	Unit 3 Hello, New Friend.	Part 1～3	How many ～?，名詞の単数・複数 / What＋名詞＋do you ～?／ What do you ～?	○	○	○	○	○	★学校，活動，生活 ◆相づちを打つ，説明する，意見を言う，質問する	7
6		Think & Speak	作りたい料理や必要な準備物について，やり取りをする	◎		◎				
6	Focus on Form 2 数えられる名詞と数えられない名詞		名詞の単数形と複数形 を整理する			○				1
6	Focus on Form 3 疑問詞（1）how many／what		How many ～?／ What＋名 詞＋do you ～?／ What do you ～? を整理する			○				
7	Unit 4 My Brother in Canada	Part 1～3	3人称単数のbe動詞is(肯定文・否定文)／ 3人称単数のbe動詞is(疑問文) ,Who is ～?／ What is ～?	○	○	○	○	○	★学校，学習，活動 ◆相づちを打つ，説明する，発表する，描写する，質問する	7
7		Think & Speak	3ヒントクイズを作成して，出題し合う	◎		◎		○		
7	Let's Talk 1 ショッピングモールで		店で買い物をする（How much ～?）	○	○	◎			★買物 ◆話し掛ける，相づちを打つ，説明する，質問する	1
7	Project 1 自己紹介をしよう		自分が伝えたいことを整理して，自己紹介をする	○			○	○	★自己紹介 ◆説明する，発表する，描写する	2
7	Let's Listen 1 ビデオメッセージ		ビデオメッセージを聞いて，必要な情報を聞き取る	◎			○		★自己紹介，学習 ◆説明する，発表する，質問する	1
9	Unit 5 A Fascinating Island in Hawaii	Part 1～3	疑問詞where／疑問詞what time／ 疑問詞when	○	○	○	○	○	★学校，学習，生活 ◆聞き直す，礼を言う，説明する，報告する，質問する	7
9		Think & Speak	理想の学校生活を考えて，たずね合う	◎		◎		○		
9	Let's Talk 2 校舎の案内		目的地までの行き方をたずねたり，説明したりする (How can I get to ～?－ go up .... ／turn right .... ／next to ....)	○	○	◎			★道案内 ◆話し掛ける，礼を言う，説明する，質問する，命令する	1
9	Focus on Form 4 疑問詞（2）where／when／what time		疑問詞where／疑問詞what time／疑問詞whenを整理する			○				1
10	Unit 6 My Aunt	Part 1～3	3人称単数現在形の一般動詞（肯定文）／ 3人称単数現在形の一般動詞（疑問文）／ 3人称単数現在形の一般動詞（否定文）	○	○	○	○	○	★学校，学習 ◆相づちを打つ，説明する，発表する	7
10		Think & Write	身近な人を紹介する文章を書く	◎			○	◎		
10	Let's Talk 3 だれのもの？		持ち主をたずねたり答えたりする (Whose ～?)	○	○	◎		○	★生活 ◆説明する，質問する	1
10	Focus on Form 5 主語が3人称のときの表現		主語が3人称のときの表現（be動詞，一般動詞）を整理する					○		1
10	Focus on Form 6 疑問詞（3）what＋be動詞／who／whose		What is ～?／ Who is ～?／ Whose ～? を整理する			○				
11	Unit 7 Our Sports Day	Part 1～3	現在進行形（肯定文）／現在進行形（疑問文）／ S＋V(≠be動詞）＋C(形容詞)	○	○	○	○	○	★電話，学校，学習，行事 ◆聞き直す，説明する，発表する，描写する	7
11		Think & Write	学校行事を紹介する文章を書く		◎			◎		
11	Let's Write 1 日本の学校生活を紹介するメールを書こう		学校生活について紹介するメールを書く		○			◎	★電子メールのやり取り ◆礼を言う，説明する	1
11	Focus on Form 7 現在進行形／「～に見える／聞こえる」の表現		現在進行形／S＋V(≠be動詞）＋C(形容詞）を整理する				○			1
11	Unit 8 Jin in London	Part 1～3	動名詞／ to 不定詞（名詞的用法）／ 疑問詞 which	○	○	○	○	○	★生活 ◆相づちを打つ，聞き直す，褒める，説明する，承諾する，質問する	7
11		Think & Speak	行きたい場所についてたずね合う	◎		◎				
12	Let's Listen 2 買い物		買い物の場面の会話を聞いて，必要な情報を聞き取る	◎			○		★買物 ◆礼を言う，説明する，申し出る，質問する	1
12	Project 2 好きな人や尊敬する人を紹介しよう		好きな人や尊敬する人について，まとまりのある文章を書いて，スピーチをする	○	○		○	○	★生活 ◆説明する，発表する	3
12	Let's Read 1 The Frogs and the Well		物語を読み，伝えたいことを理解する		◎	○				1
1	Focus on Form 8 動名詞／ to＋動詞の原形		動名詞／ to不定詞（名詞的用法）を整理する					○		1
1	Unit 9 Winter Vacation in New York	Part 1～3	一般動詞の過去形（肯定文・規則／不規則）／ 一般動詞の過去形（疑問文）／ be動詞の過去形（肯定文・否定文・疑問文）	○	○	○	○	○	★生活，学校，学習 ◆繰り返す，説明する，報告する，発表する，質問する	7
1		Think & Speak	冬休みの思い出についてスピーチをする	◎			◎	○		
1	Let's Talk 4 ファストフード店で		店で注文をする（What would you like to ～?／ I'd like to ～.）	○	○	◎			★食事 ◆説明する，質問する，依頼する	1
1	Let's Write 2 日記を書こう		自分がしたことや気持ちなどについて，日記を書く		○			◎	★生活 ◆説明する，描写する	1
1	Focus on Form 9 動詞の過去形		一般動詞・be動詞の過去形を整理する			○				1
1	Focus on Form 10 疑問詞（4）which		疑問詞whichを整理する			○				
2	Unit 10 Plastic Waste	Part 1～3	接続詞when ／過去進行形（肯定文・疑問文）／ S＋V＋O＋O(名詞)	○	○	○	○	○	★社会，学習 ◆相づちを打つ，説明する，報告する，発表する，質問する	7
2		Think & Speak	自分の大切なものについてスピーチをする		◎		◎	○		
2	Let's Talk 5 お願い		相手に依頼したり，自分がしたいことの許可を求める（Can you ～?／ Can I ～?）	○	○	◎			★電話での対応，生活 ◆話し掛ける，承諾する，依頼する	1
2	Let's Listen 3 今日のニュース		ニュースを聞いて，必要な情報を聞き取る	◎			○		★生活 ◆相づちを打つ，説明する，報告する，質問する	1
2	Focus on Form 11 when節／過去進行形		接続詞when ／過去進行形を整理する			○				1
2	Focus on Form 12 「_に…を」の表現／代名詞のまとめ		S＋V＋O＋O(名詞) ／代名詞を整理する					○		
3	Project 3 先生に感謝の手紙を書こう		感謝の気持ちを伝える手紙を書く		○			○	★手紙 ◆礼を言う，説明する	3
3	Let's Read 2 Eeyore Has a Birthday and Gets Two Presents		物語を読んで，概要を捉える		◎	○		○		3

計 103 時間

資料

単元一覧表（2年）

[略号]
L＝聞くこと／R＝読むこと／S（I）＝話すこと（やり取り）／S（P）＝話すこと（発表）／W＝書くこと
◎＝特に重点を置いて育成する技能，○＝扱う技能

月	単元タイトル	項目	言語材料・内容	主な領域 L	R	S（I）	S（P）	W	★言語の使用場面 ◆言語の働き	配当時数
4	Unit 1 Talent Show	Part 1～3	助動詞will／be going to ...／S＋V＋O(that節)	○	○	○	○	○	★学校，活動 ◆相づちを打つ，説明する，報告する，質問する，招待する	9
		Read & Think	学校新聞の記事を読む	○	◎			○		
		Think & Speak	イベントの企画を発表する	○			◎	○		
5	Let's Talk 1 親しい人への依頼		依頼する（Will you ～?）	○	○	◎			★生活 ◆依頼する，招待する	1
	Let's Listen 1 週末の天気予報		天気予報を聞いて，必要な情報を聞き取る	◎		○			★家庭，生活 ◆説明する	1
	Focus on Form 1 未来表現		助動詞will／be going to ... を整理する			○				1
	Unit 2 Festivals in the World	Part 1～3	to不定詞（副詞的用法・目的）／to不定詞（形容詞的用法）／It is ～（for＋人）to＋動詞の原形	○	○	○	○	○	★学校，学習 ◆説明する，発表する，描写する，意見を言う	9
		Listen & Think	長岡花火についてのプレゼンテーションを聞く	◎			○			
		Think & Speak	祭りの内容や自分の考えを発表する	○			◎	○		
6	Let's Talk 2 気持ちを伝える		気持ちを伝える（to不定詞（副詞的用法・原因））	○	○	◎			★学校，生活 ◆気持ちを伝える	1
	Focus on Form 2 to＋動詞の原形		to不定詞（名詞的用法・副詞的用法・形容詞的用法）を整理する			○		○		1
	Let's Write 1 おすすめの旅行先を紹介しよう		おすすめの旅行先を紹介するメールを書く		○			◎	★電子メールのやり取り ◆説明する	1
	Unit 3 Visiting Singapore	Part 1～3	助動詞must, must not／have to, do not have to／助動詞should	○	○	○	○	○	★生活 ◆話し掛ける，相づちを打つ，説明する，意見を言う	9
		Read & Think	シンガポールについての説明文を読む	○	◎			○		
		Think & Write	学校のルールを紹介する文章を書く		○			◎		
	Let's Listen 2 空港のアナウンス		空港や機内のアナウンスを聞いて，必要な情報を聞き取る	◎			○		★旅行 ◆説明する，報告する	1
7	Project 1 Sharing Japanese Culture with the World		日本文化を紹介する文章を書いて，発表する		○	○	○	○	★学校，学習 ◆説明する，発表する，描写する	3
	Let's Read 1 The Restaurant of Many Orders		物語を読んで，登場人物の行動や心情の変化，あらすじなどを捉える		◎	○				2
9	Unit 4 Preparing for Natural Disasters	Part 1～3	There is[are] ～／S＋V＋O(疑問詞＋to不定詞)／S＋V＋O(人)＋O(疑問詞＋to不定詞)	○	○	○	○	○	★地域，生活 ◆説明する，報告する，意見を言う，質問する	9
		Listen & Think	防災についてのラジオ放送を聞く	◎			○			
		Think & Speak	災害発生時の行動について説明する	○			◎	○		
	Let's Talk 3 道案内		目的地までの行き方をたずねたり，説明したりする（Could you ～?）	○	○	◎			★道案内 ◆話し掛ける，説明する，質問する，依頼する	1
10	Unit 5 What is Your Dream?	Part 1～3	接続詞if／接続詞because／be動詞＋形容詞＋that節	○	○	○	○	○	★学校，学習，活動 ◆説明する，報告する，発表する，仮定する，質問する	9
		Read & Think	職場体験先へのお礼の手紙を読む		◎	○				
		Think & Write	将来の夢・目標について書く		○			◎		
	Let's Talk 4 レストランでの食事		レストランで注文をする（Would you ～?／Shall I ～?）	○	○	◎			★食事 ◆話し掛ける，説明する，申し出る，依頼する	1

データのダウンロードはこちらから
https://www.shinko-keirin.co.jp/keirinkan/chu_r7/english/curriculum.html

月	単元タイトル	項目	言語材料・内容	主な領域 L	R	S（I）	S（P）	W	★言語の使用場面 ◆言語の働き	配当時数
10	Focus on Form 3 仮定・理由・時を表す接続詞		接続詞if, because, when, before, after を整理する			○		○		1
11	Unit 6 Kiri on the Stage	Part 1～3	S＋V＋O＋C(名詞)／S＋V＋O＋C(形容詞)／S＋tell, wantなど＋O＋to不定詞	○	○	○	○	○	★学校，活動，生活 ◆礼を言う，褒める，報告する，意見を言う	9
		Read & Think	SNSのメッセージのやり取りを読む		◎			○		
		Think & Write	友達の悩みに対するアドバイスを書く		○			◎		
	Let's Listen 3 留守番電話		留守番電話を聞いて，必要な情報を聞き取る	◎				○	★電話での対応 ◆説明する，約束する	1
	Focus on Form 4 さまざまな文構造		There is[are] ～／that節／疑問詞＋to不定詞／S＋V＋O＋C(名詞，形容詞)／S＋tell, wantなど＋O＋to不定詞 を整理する			○		○		1
12	Project 2 Our Dreams for the Future		「30年後あったらいいなと思うもの」についてプレゼンテーションをする		○	○	○	○	★学校，学習，生活 ◆説明する，発表する，描写する	3
	Let's Read 2 The Snowman		物語を読んで，あらすじや登場人物の心情を捉える		◎		○			3
1	Unit 7 World Heritage Sites	Part 1～3	比較級（-er），最上級（the -est）／比較級(more)，最上級(the most)／as ～ as ...	○	○	○	○	○	★学校，学習，地域 ◆説明する，発表する，描写する，意見を言う	9
		Read & Think	世界遺産が抱える課題についての説明文を読む	○	◎		○			
		Think & Speak	地域や学校の大切なものについて発表する	○			◎	○		
	Let's Talk 5 体調は？		相手の体調についてたずねたり，自分の体調を説明したりする（What's wrong? －I feel sick.）	○	○	◎			★生活 ◆話し掛ける，説明する，意見を言う，質問する	1
	Focus on Form 5 比較表現		比較級（-er, more)／最上級（the -est, the most）／as ～ as ... を整理する			○		○		1
	Let's Write 2 日本の習慣やマナーを伝えよう		日本の習慣やマナーについて紹介する，まとまりのある文章を書く		○			◎	★電子メールのやり取り ◆説明する	1
2	Unit 8 Food Diversity	Part 1～3	受動態（平叙文）／受動態（疑問文）／助動詞＋受動態	○	○	○	○	○	★学校，生活，地域 ◆相づちを打つ，説明する，質問する	9
		Listen & Think	食の多様性についてのプレゼンテーションを聞く	◎			○			
		Think & Write	地域の食べ物について紹介する文章を書く		○	○		◎		
	Let's Talk 6 許可を求める		自分がしたいことの許可を求める（May I ～?）	○	○	◎			★生活，買物 ◆承諾する，依頼する	1
	Let's Listen 4 ラジオ番組		ラジオ番組を聞いて，必要な情報を聞き取る	◎			○		★生活 ◆相づちを打つ，説明する，報告する，質問する	1
	Focus on Form 6 受動態		受動態（平叙文，疑問文）／助動詞＋受動態 を整理する					○		1
3	Project 3 Discussion		テーマに対する自分の意見や理由を考えて，グループでディスカッションをする	○	○	○	○	○	★学校，学習 ◆相づちを打つ，意見を言う，賛成する，反対する，質問する	3
	Let's Read 3 Charles Schulz		伝記を読んで，出来事を時系列に沿って整理する		◎			○		4
	Focus on Form 7 助動詞		これまでに学んだ助動詞を整理する				○	○		1

計 109 時間

資料

単元一覧表（3年）

［略号］
L＝聞くこと／R＝読むこと／S(I) ＝話すこと（やり取り）／
S(P) ＝話すこと（発表）／W＝書くこと
◎＝特に重点を置いて育成する技能，○＝扱う技能

月	単元タイトル	項目	言語材料・内容	主な領域 L	R	S(I)	S(P)	W	★言語の使用場面 ◆言語の働き	配当時数
4	Unit 1 Trick Your Eyes with Art	Part 1～3	現在完了形（完了用法）（平叙文）／現在完了形（完了用法）（疑問文）／現在完了形（経験用法）（平叙文，疑問文）	○	○	○	○	○	★生活 ◆謝る，説明する，報告する，質問する	10
		Read & Think	だまし絵の歴史についての説明文を読む		◎		○			
		Think & Speak	好きな美術作品について発表する	○			◎	○		
5	Unit 2 Passing Down Memories	Part 1～3	現在完了形（継続用法）（平叙文）／現在完了形（継続用法）（疑問文）／現在完了進行形	○	○	○	○	○	★学校，行事 ◆説明する，発表する，質問する	10
		Read & Think	語り部とその伝承者についての説明文を読む		◎			○		
		Think & Write	修学旅行について紹介する文章を書く	○				◎		
	Focus on Form 1 現在完了形／現在完了進行形		現在完了形（完了用法，経験用法，継続用法）／現在完了進行形 を整理する			○				1
6	Unit 3 Living Side by Side	Part 1～3	S＋V＋O＋O(that節)／S＋V＋O＋O(whatなどの節)／	○	○	○	○	○	★学校，学習 ◆相づちを打つ，説明する，発表する	9
		Listen & Think	施設についてのプレゼンテーションを聞く	◎			○			
		Think & Speak	動物や植物を育てた体験を発表する	○			◎			
	Let's Talk 1 買い物のトラブル		トラブルに関する苦情を伝えたり，苦情に対して謝ったりする (Would you exchange it ...? ／ I apologize ....)	○	○	◎			★買物 ◆苦情を言う，謝る，承諾する，依頼する	1
	Let's Listen 1 Rank Items in Order of Importance		ラジオ番組を聞いて，必要な情報を聞き取る	◎			○		★生活 ◆相づちを打つ，説明する，仮定する，質問する	1
	Focus on Form 2 英語の文構造		これまでに学んだ5文型を整理する					○		1
7	Project 1 Interview with Our ALT		ALTの先生にインタビューを行い，内容を文章にまとめる	○	○	○		○	★学校，学習 ◆相づちを打つ，聞き直す，質問する，依頼する	3
	Let's Read 1 The Wizard of Oz		物語を読んで，あらすじを理解し，作者が伝えたかったことを考える		◎	○				4
9	Unit 4 Society for All	Part 1～3	現在分詞の後置修飾／過去分詞の後置修飾／接触節	○	○	○	○	○	★学校，活動，行事 ◆説明する，報告する，発表する，質問する	10
		Read & Think	点字ブロックについての説明文を読む		◎			○		
		Think & Write	ユニバーサルデザインの具体例を説明する文章を書く	○				◎		
	Let's Write 1 中学校生活で打ち込んできたことを書こう		中学校生活で打ち込んできたことについて，まとまりのある文章を書く		○			◎	★学校，生活 ◆説明する	1

データのダウンロードはこちらから
https://www.shinko-keirin.co.jp/keirinkan/chu_r7/english/curriculum.html

月	単元タイトル	項目	言語材料・内容	主な領域 L	R	S(I)	S(P)	W	★言語の使用場面 ◆言語の働き	配当時数
10	Unit 5 Take Action on Climate Change	Part 1～3	関係代名詞 who／関係代名詞 that[which]（主格）／関係代名詞 that[which]（目的格）	○	○	○	○	○	★学校，学習，地域 ◆説明する，発表する，質問する	9
		Listen & Think	環境に関するプレゼンテーションを聞く	◎			○			
		Think & Speak	自分が取り組める気候変動への対応策について発表する	○			◎			
	Focus on Form 3 後置修飾／＜疑問詞＋主語＋動詞＞を含む文		現在分詞，過去分詞／接触節／関係代名詞 who, that, which ／S＋V＋O(whatなどの節) ／S＋V＋O＋O(whatなどの節) を整理する			○		○		1
	Unit 6 Working in the World	Part 1～3	S＋V＋O＋C(原形不定詞)／仮定法過去（If ....）／仮定法過去（I wish ....）	○	○	○	○	○	★社会 ◆説明する，意見を言う	10
		Read & Think	大谷翔平選手についての文章を読む		◎		○			
		Think & Write	世界で活躍する人物を紹介する文章を書く		○			◎		
11	Let's Talk 2 乗り物を使った道案内		目的地までの乗り物を使った行き方をたずねたり，説明したりする (take the ～ Line .... ／change to .... ／get off ....)	○	○	◎			★道案内 ◆話し掛ける，説明する，質問する，依頼する	1
	Let's Listen 2 Pay It Forward		ラジオ番組を聞いて，話の概要を聞き取る	◎			○		★生活 ◆説明する，描写する	1
	Project 2 This Is All About Me -Autobiography-		自分の過去・現在・未来について，まとまりのある文章を書く		○			○	★生活 ◆説明する，描写する，仮定する	3
12	Let's Read 2 English Is a Tool for International Communication		言語についての説明文を読んで，要点を捉える		◎		○			4
	Focus on Form 4 「～に…させる」などの表現／仮定法過去		S＋V＋O＋C(原形不定詞)／仮定法過去（If .... ／I wish ....）を整理する				○			1
1	Let's Talk 3 誘いを断る		誘いに対して，相手の気持ちに配慮して断る (I'd like to, but ....)	○	○	◎			★生活 ◆礼を言う，断る，招待する	1
	Let's Listen 3 Fighting Global Warming		環境問題についてのスピーチを聞いて，話の要点を捉える	◎			○		★社会 ◆説明する，発表する，意見を言う	1
	Let's Write 2 投稿文への意見を書こう		投稿文を読み，内容に対する自分の意見を，理由や根拠を交えて書く		○			◎	★社会 ◆説明する，意見を言う，賛成する，反対する	1
2	Let's Read 3 Rocket Boys		ノンフィクションの文章を読んで，話の展開や登場人物の心情を捉え，おおまかな内容を理解する		◎		○			6

計 90 時間

資料

周辺教材のご紹介

指導書 | 充実のラインナップで先生の指導・生徒の学習をサポートします！

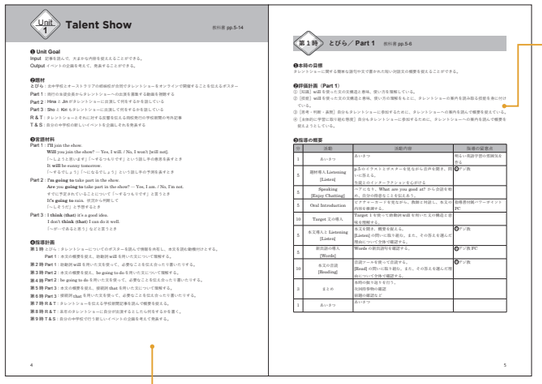
① 解説編	本文の訳例，スクリプト，設問の解答例，文法・語法の解説，題材情報など，教科書に関わる情報を詳細に掲載。
② 指導編	年間指導計画や指導案。指導案では評価計画など評価についての情報も掲載。オーラルイントロダクションや生徒との対話例も収録。
③ Teacher's Book（朱註編）	教科書と同じ紙面上に，指示文の英訳，リスニングスクリプト，解答や発話例，音声指導のポイントなど，授業に必要な情報を簡潔に掲載。
④ 文法ワークシート	各Partで学ぶ文法のわかりやすい解説と練習問題。Focus on Formに対応した練習問題も収録。
⑤ 教科書活用ワークシート	教科書の活動に合わせて書き込めるようにしたワークシート。Read & Think, Listen & Thinkのスモールステップの内容理解ワークシートも。
⑥ アクティビティ集	発展的な言語活動のアイディア集。教科書の活動＋αとしてご活用いただけます。
⑦ 題材補充資料集	教科書で扱う題材の背景知識などを解説する資料。生徒にそのままコピーして配布可能。
⑧ 定期テスト・パフォーマンステスト集	単元末プリントや定期テスト作成に使える問題集。オリジナルのリスニング問題や英作文問題，長文問題，パフォーマンステストの指導案や評価基準例などを収録。
⑨ 音声CD	Unit内のListen, Listen & Think，Let's Listenの音声，および上記⑧のリスニング問題の音声を収録。
⑩ データDVD-ROM	上記④〜⑧のデータ，本文・訳例，語彙リスト，ピクチャーカードなど多数のデータを収録。（→収録内容一例はp.58）

※制作中のため，仕様および内容は変更になる場合がございます。

指導書では，各ワークシートのサンプルを１冊にまとめて収録。
全データは，**データ DVD-ROM** もしくは **KEIRINKAN Portal**（→ p.59）からご使用いただけます。

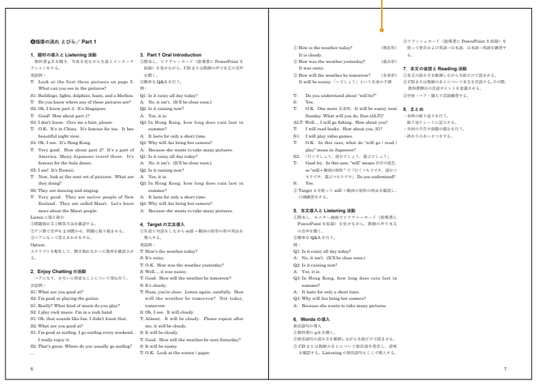


Pick Up! ① 指導編 評価規準の設定や授業展開の参考として



各時の評価計画を示しています。

各時の指導の流れを，発話例やQ&A例等とともに掲載しています。



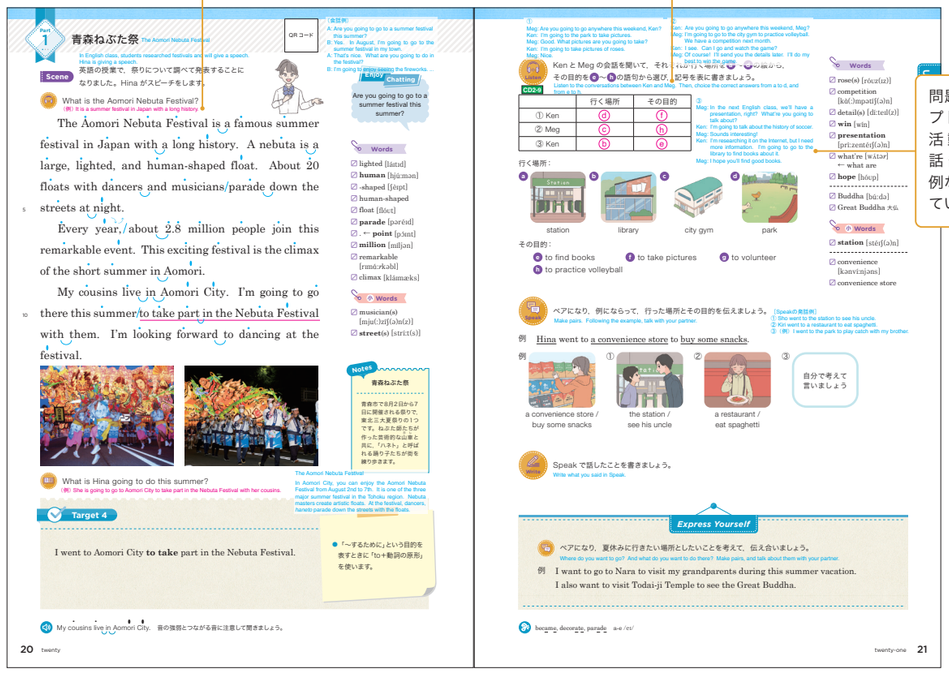
単元の目標，扱う題材や言語材料，指導計画を示しています。

Pick Up! ② Teacher's Book（朱註編） 日々の授業のために

※単体販売あり

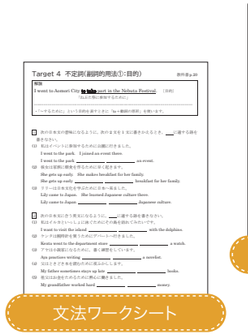
本文の音読ポイントを詳細に示しています。

指示文の英訳を掲載し，オールイングリッシュでの授業を支えます。



問題のスクリプトや解答，活動での発話例・会話例などを示しています。

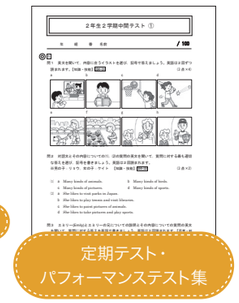
Pick Up! ③ 各種ワークシート 日々の授業や自学自習のために











指導書では，各ワークシートから抜粋して１冊にまとめた**サンプル冊子**を収録しています。
全ワークシートのデータ（Word・PDF）は，**データ ROM** もしくは **KEIRINKAN Portal** からご使用いただけます。



Pick Up! 4 データDVD-ROM　授業にご活用いただけるデータを多数収録

●収録内容一例

※制作中のため，仕様および内容は変更になる場合がございます。

教科書データ	本文テキスト，本文訳例，リスニングスクリプト，解答，新出語句リストなど，教科書に係るデータです。
教材・資料データ	ピクチャーカード，フラッシュカードなど，授業で提示できる教材データです。 また，指導計画，CAN-DO Listなどのカリキュラム作成資料データも収録しています。
ワークシートデータ	指導書ラインナップのワークシート等の**全ページ**のデータです。 収録ワークシート ● 文法ワークシート ● 教科書活用ワークシート ● アクティビティ集 ● 題材補充資料集 ● 定期テスト・パフォーマンステスト集 ● 指導編掲載のワークシート

各ワークシートは，**Word・PDF**の2種の形式で収録しています。



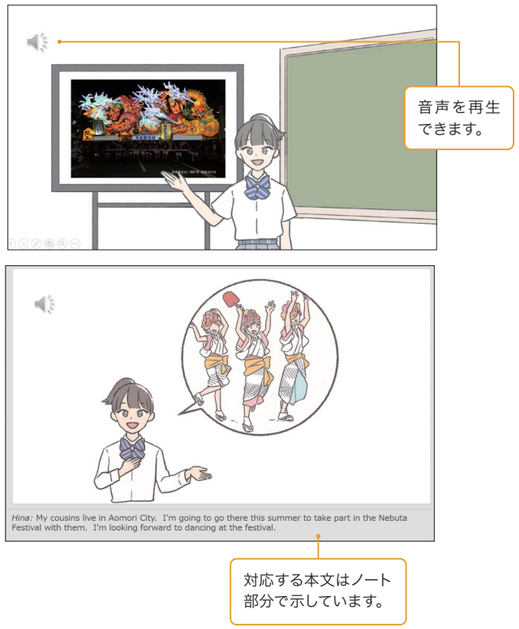
●データサンプル

※制作中のため，仕様および内容は変更になる場合がございます。

ピクチャーカード

本文内容を表す写真やイラストを収録しています（PDF）。1枚ずつ1スライドに掲載しているPowerPointデータも収録しています。

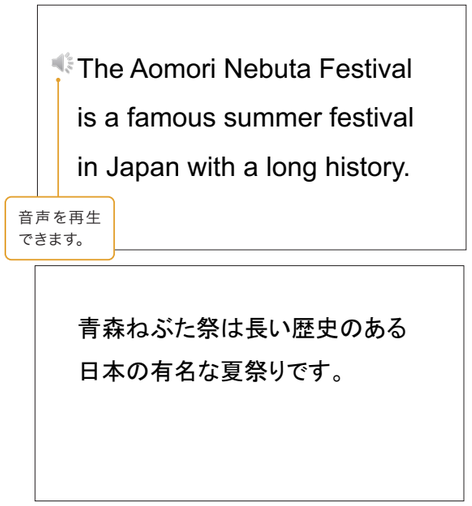
・PowerPoint データの例



本文データ

テキストデータ（Word）と，1文ごとにスライドに掲載しているPowerPointデータを収録しています。**編集可能**なので，必要に応じて加筆修正してご使用いただけます。

・PowerPoint データの例



指導用データをWebサイトからダウンロード可能！

啓林館ポータルとは？

指導書付属のDVD-ROM収録データをWebサイトからダウンロードできます。データの閲覧も可能です。指導書をご購入いただいた学校の先生方がご利用いただけます。

※ご利用には会員登録が必要です。

体験版はコチラから！

https://jh.keirinkan-portal.com/
ユーザー名：keirin-jeigo
パスワード：trial-jeigo

KEIRINKAN Portal



副教材など　生徒用教材で，さらに学力の向上を図ります。

生徒用教材

※制作中のため，仕様および内容は変更になる場合がございます。

●BLUE SKY WORKBOOK

BLUE SKY完全準拠のワークブックです。授業の予習や復習などにご活用いただけます。各単元の新出語句や新出文法の演習問題を中心に，読解問題や英作文問題などを収録しており，「聞く」「読む」「話す」「書く」の各観点別に学習できます。また，教科書のイラストを使用しているので，学習の効率が上がります。

●BLUE SKY 準拠ノート

BLUE SKY完全準拠のノートです。主に授業用ノートとしてご使用いただけます。新出語句を書き込んだり，新出文法についてなど授業で学んだことを自由に書き込んで，重要事項を整理したりすることができます。

●BLUE SKY Premium

長文問題，語彙・語法問題，リスニング問題，自由英作文問題などを収録しています。高校入試問題のほか，英検®，共通テスト，模試など各種試験を意識した問題も収録しています。

※英検®は，公益財団法人 日本英語検定協会の登録商標です。
　このコンテンツは，公益財団法人 日本英語検定協会の承認や推奨，その他の検討を受けたものではありません。

拡大教科書のご紹介

●弱視生徒への配慮として，通常の教科書の文字や図形，イラストなどを大きく，読みやすく構成し直した教科書です。
●弱視の程度に合わせて選べるように，文字の大きさを変えたものをご用意する予定です。
●弊社教科書の理科・数学・外国語の3教科，全学年で発行します。

※制作中のため，仕様および内容は変更になる場合がございます。

特別支援・インクルーシブ教育への対応

より多くの人が学びやすい教科書を目指して，デザイン・内容などを工夫しています。

UDフォント（ユニバーサルデザインフォント）の使用

UD FONT

1年の英語部分には，見やすく読みまちがえにくい
UDフォント（ユニバーサルデザインフォント）を採用しています。

小学校英語でも採用されている**5：6：5**の**4線**を使用しています。2段目が少し広いので，hとnなど紛らわしい文字の区別がはっきりします。また，4線に合わせて書いても，大文字の形が崩れません。



※入試・外部試験や高校英語などでも使われるセリフ体（ローマン体）に少しずつ慣れていけるように，2年からは Century Schoolbook を使用しています。

カラーユニバーサルデザインへの配慮

個人の特性にかかわらず内容が伝わりやすい配色・デザインを目指しました。メディア・ユニバーサルデザイン協会（MUD）の認証を申請中です。

MUD Media Universal Design

あいさつ 自己紹介	
トピック	school rules
具体例 （登下校／服装／昼食／持参してはいけないものなど）	見分けやすい色の組み合わせ
終わりのあいさつ	

2年 p. 42

人権・福祉への配慮

登場する人物の人種・性別・身体的特徴などは，極端な偏りがないように配慮しました。様々な特徴を持つ方を掲載し，多様性を認める紙面になるように配慮しました。



学習項目の位置を固定

主となるページでは学習項目の位置を固定し，生徒が学習の流れを把握しやすくしてあります。学びやすく教えやすい基本構成になるように配慮しました。

デジタル教科書での配慮

白黒反転，拡大，総ルビ表示，音声読み上げ，リフロー表示，配色変更などの機能を実装しています。

pp. 36 – 39

拡大教科書の発行

拡大教科書（通常の教科書の文字や図形・イラストなどを大きく，読みやすくした教科書）を発行する予定です。

p. 59

著作編修関係者

馬場　哲生	東京学芸大学教授
赤井　真三子	三豊市立詫間中学校教頭
雨宮　真一	東京学芸大学附属国際中等教育学校副校長
有馬　義秀	鹿児島純心女子短期大学教授
伊藤　幸男	文京学院大学特任教授
伊藤　智子	練馬区立大泉学園中学校主任教諭
臼田　悦之	函館工業高等専門学校教授
内田　諭	九州大学准教授
内田　信也	元 行橋市立行橋中学校校長
内田　恵	静岡大学名誉教授
内田　由香利	九州女子大学講師
大木　俊英	白鷗大学准教授
岡崎　浩幸	富山大学教授
岡野　友美	武蔵野大学中学校・高等学校非常勤講師
奥田　裕香	大阪狭山市立狭山中学校教諭
小倉　弘之	愛知学泉大学准教授
尾島　司郎	早稲田大学教授
影浦　攻	鹿児島純心大学名誉教授・宮崎大学名誉教授
片山　敬子	元 鳥取大学特任教授
金子　淳	三重大学教授
兼重　昇	大阪樟蔭女子大学教授
狩野　晶子	上智大学短期大学部教授
菅野　智子	防府市立桑山中学校教諭
清水　哲也	元 鹿児島市立鴨池中学校校長
Quint Oga-Baldwin	早稲田大学教授
Nguyen Thoa	神奈川県立総合教育センター講師
Kevin Mueller	東京国際大学教授
幸田　美沙	大阪樟蔭女子大学講師
小西　静子	青森市立北中学校教諭
西條　秀俊	浜松市立湖東中学校主幹教諭
坂本　育生	鹿児島大学名誉教授
新庄　恵子	有明教育芸術短期大学教授
鈴木　泉	盛岡市立仙北中学校副校長
鈴木　恵太	岩手大学准教授
高田　智子	清泉女子大学教授
瀧沢　広人	岐阜大学准教授
竹崎　優子	元 高知市立義務教育学校土佐山学舎校長
田尻　悟郎	関西大学教授
田所　貴大	宇都宮大学助教
田中　真由美	武庫川女子大学准教授
Daniel Woods	星槎大学特任准教授
Damien Pratt	玉川学園小学部教諭
丹藤　永也	青森公立大学教授
朝長　省吾	元 伊万里市立伊万里中学校校長
直井　海斗	上里町立上里北中学校教諭
長竹　智宏	藤岡市立鬼石小学校教諭
西島　明子	札幌市立中島中学校教諭
野中　辰也	新潟青陵大学短期大学部教授
長谷川淳一	桜美林大学准教授
濵本　早百合	横浜市立宮田中学校教諭
林　譲治	大阪市立茨田中学校教諭
比嘉　俊博	元 那覇市立首里中学校校長
福田　恵	つるぎ町立貞光中学校教諭
藤井　仁	元 生駒市立光明中学校校長
前田　康二	奈良教育大学教授
宮崎　貴弘	神戸市立葺合高等学校教諭
宮原　史明	皆野町立皆野中学校教諭
森　雅也	津市立東橋内中学校教諭
山岡　賢三	大阪教育大学特任教授
山口　常夫	東北文教大学教授
山﨑　寛己	新潟市立下山中学校教諭
山崎　祐一	長崎県立大学教授
山下　枝見子	門真市立第四中学校教諭
山下　喜世子	元 八王子市立第五中学校主幹教諭
吉井　誠	熊本県立大学教授
米崎　里	関西学院大学准教授
米山　聡	須坂市立相森中学校教諭
渡部　園美	横浜市立洋光台第二中学校主幹教諭

株式会社 新興出版社啓林館編集部

【特別支援教育に関する監修】
柘植　雅義　筑波大学教授

【防災・減災に関する監修】
河田　惠昭　関西大学特別任命教授・社会安全研究センター長

【環境教育に関する監修】
阿部　治　立教大学名誉教授

【STEAM 教育に関する監修】
中島　さち子　株式会社 steAm 代表取締役

ほか48名